“経営に知恵と革新”

令和４年７月１日発行（隔月発行）Vol.765 号

マネジメント コンサルタント

Management Consultant

2022年７月・８月号

第68回定時社員総会

認定経営革新等支援機関

一般社団法人日本経営士会

会員の皆様の益々のご健勝
ご活躍を祈念いたします

令和４年　盛夏

一般社団法人 日本経営士会

会長　鈴木 和男

副会長	岩井 美喜夫
専務理事	近藤 安弘
業務執行理事	児玉 充晴
業務執行理事	豊政 茂
東日本ブロック理事	竹俣 大介
中日本ブロック理事	大蔵 充夫
西日本ブロック理事	三品 富義
監事	春原 和夫
監事	廣瀬 典仁

北海道支部長	須川 清一
東北支部長	山下 健二
北関東支部長	桒山 一宏
千葉支部長	関口 恒
埼玉支部長	鈴木 栄治
東京支部長	大蔵 充夫
南関東支部長	戸部 廣康
中部支部長	三品 富義
近畿支部長	國廣 好行
中国支部長	小原 啓子
四国支部長	川西 健雄
九州支部長	西尾 廣幸
台湾特別支部長	蔡 有義

INDEX

第68回定時社員総会報告 ・・・・・・・・・2
理事会通信 ・・・・・・・・・5
2022年度「研究論文大募集」 ・・・・・・・・・6

事業部・委員会活動
第55期経営士養成講座開催 ・・・・・・・・・9
経営支援事業部「2022度第1回経営支援アドバイザー養成講座」開催 ・・・・・・・・・10
経営支援事業部「更新制度導入」について ・・・・・・・・・11
SDGs事業部「地方創生SDGs官民連携プラットフォームHP」リニューアル ・・・・・・・・・12
サスティナブルマネジメントセンター SX・GX ・・・・・・・・・13
MPP委員会「令和3年度MPPポイント取得と保有のご報告及び、MPPリーダー登録有効期限のお知らせ ・・・・・・・・・15
北関東支部MPPのご案内／MPPリーダー養成・更新研修のご案内 ・・・・・・・・・19
NJK女性経営士の会　2022年女性リーダーによるMPPのご案内 ・・・・・・・・・21
TAMAマネジメント研究会企業見学の報告 ・・・・・・・・・22
AMCJクロッシング「リアル！クロッシング」を開催します ・・・・・・・・・24
第56期経営士養成講座の募集について ・・・・・・・・・26

支部活動報告
北海道支部　支部方針 ・・・・・・・・・28
東北支部　活動報告 ・・・・・・・・・29
北関東支部　鮭文化と町屋見学のご案内 ・・・・・・・・・32
埼玉支部　活動報告 ・・・・・・・・・33
千葉支部　活動報告 ・・・・・・・・・34
東京支部　「DX研究会報告」 ・・・・・・・・・35
南関東支部　「カーボンニュートラルとGX」 ・・・・・・・・・37
南関東支部　静岡経営支援センター　活動報告 ・・・・・・・・・38
中部支部　4月～5月活動報告 ・・・・・・・・・40
近畿支部　今後の活動について ・・・・・・・・・42
中国支部　支部会員相互連携事業開発研修会 ・・・・・・・・・43
インフォメーション ・・・・・・・・・44
新刊紹介 ・・・・・・・・・45

マネジメントコンサルタント（Management Consultant）
発行所：一般社団法人日本経営士会

〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A. 二番町ビル5F
Tel：03-3239-0691　Fax：03-3239-1831
https://nihonkeieishikai.com

表紙：第68回定時社員総会

一般社団法人日本経営士会
第68回定時社員総会議事録

第68回定時社員総会が6月24日（金）、JR四ツ谷駅前のスクワール麹町3階「華の間」にて開催されました。新型コロナウィルスの影響を考え、テーブル2名掛けのソーシャルディスタンスを行い、ZOOM配信と併用で行いました。

また、開催に先だち、令和3年度に故人になられた5名に黙祷が捧げられました。

開催日時　：　令和4年6月24日（金）　15：30 ～ 17：20

開催場所　：　スクワール麹町　3階　華の間（ZOOM配信あり）
東京都千代田区麹町6-6　電話 03-3234-8739

出席理事　：　鈴木和男会長、鈴木祥浩副会長、近藤安弘専務理事、児玉充晴業務執行理事、川西健雄業務執行理事、松橋裕子ブロック理事、大蔵充夫ブロック理事

出席監事　：　石井政夫監事、廣瀬典仁監事

社員総数と出席者数　：　社 員 総 数　662名（過半数：332名）
出席社員数　403名（内訳）　本人出席数　45名
委任状提出者数　173名
書面議決権行使者数　185名

議　　案　：　第一号議案　令和3年度事業報告に関する件
第二号議案　令和3年度決算承認の件
令和3年度監査報告
第三号議案　役員選任の件
第四号議案　定款変更の件
第五号議案　令和4年事業計画について
第六号議案　令和4年度収支予算に関する件

議長及び議事録署名人の選任について　：

鈴木会長の挨拶のあと、鈴木会長の指名で、近藤専務理事より成立要件について定款第20条第1項の規定により、総会成立に必要な社員数の過半数以上の出席を得て、第68回定時社員総会は有効に成立した旨が告げられた。

定款第18条に基づき、鈴木会長が議長に就任し開会を宣言した。

また、定款第22条第2項の規定により議事録署名人を指名したい旨を述べたところ、出席者は異議なく賛成し、議事録署名人として南関東支部戸部廣康社員と東京支部齊藤潤社員が指名され、被選任者もこれを承諾した。

議案決議の結果(第一号～第六号)

第一号議案　令和3年度事業報告に関する件

第二号議案　令和3年度決算承認の件
令和3年度監査報告

鈴木議長指名で、第一号議案の報告事項、第二号議案の決算承認の件は近藤専務理事に、監査報告は廣瀬監事が議案書に沿って説明をした。

審議の結果、鈴木会長が第二号議案の承認を求めたところ、賛成多数で可決された。

第三号議案　役員選任の件

鈴木議長の指名で近藤専務理事が役員候補ごとに採決を取った結果、役員候補全員が出席者数の過半数を得たので、役員候補全員が次期役員として承認された。

(理事9名)

高橋直也会員、児玉充晴会員、鈴木和男会員、近藤安弘会員、豊政茂会員、岩井美喜夫会員、竹俣大介会員、大蔵充夫会員、三品富義会員

(監事2名)

春原和夫会員、廣瀬典仁会員

第四号議案　定款変更の件

鈴木議長の指名で、近藤専務理事から本議案は、定款19条第2項にあたるため、総社員数の3分の2以上(445名)の決議が求められるが、書面決議を含めた出席社員全員が3分の2に満たなかったため廃案となった旨の説明があった。尚、改めて臨時社員総会を開催する旨の発言が議長よりあった。

第五号議案　令和4年度事業計画について

第六号議案　令和4年度収支予算に関する件

鈴木議長の指名により、両議案とも議案書に基づき近藤専務理事が報告した。

以上をもって議事が終了したので、議長が閉会を宣言した。

時に17時20分であった。

尚、引き続き本部役員役職選任の臨時理事会開催のため、第三号議案で選任された役員は一旦離席した。

その後、社員会場に全員が戻り、新会長が出席者に役員役職の報告を行った。

（議事進行はつつがなく進められた）

役員役職は下記のとおり決定した。

会長（代表理事）：鈴木和男（東京支部）

副会長（代表理事）：岩井美喜夫（四国支部）、

専務理事：近藤安弘（南関東支部）

業務執行理事：高橋直也（東北支部）、児玉充晴（千葉支部）、豊政茂（中国支部）

ブロック理事：竹俣大介（北関東支部）、大蔵充夫（東京支部）、三品富義（中部支部）

監事：春原和夫（埼玉支部）、廣瀬典仁（南関東支部）

（敬称略）

総会終了後、2年ぶりの懇親会が開催されました。引き続き大蔵理事の司会で、近藤専務理事の乾杯の発声で懇親会が始まりました。

その後は、新型コロナ対策を十分に施しながら、久しぶりの再会に積もる話に花を咲かせ、和やかな懇親会が時間一杯まで続き、岩井新副会長の中締めでお開きとなりました。

理事会通信

＜令和４年度第２回定例理事会（抜粋）＞

記

１．日　時：令和4年5月23日（金）　13：30～16：05

２．会　場：本部会議室（ZOOM参加）

３．議　題：

(1)審議事項

第1号から第3号議案

令和3年度決算報告、定款一部改訂について等、第68回定時社員総会議題、運営について、最終の報告を行い、全会一致を以って承認された。

第4号議案：支部配賦金額について

近藤専務理事より今年度の支部配賦金について正会員1名あたり10,000円を基準にする旨の説明があり、全会一致を以って承認された。

第5号議案：経営士補から経営士へ移行に関する規程について

児玉理事より「資格に関する規程」「経営士補の昇格の“資格に関する規程”への盛り込み」が提出され、経営士補から経営士への昇格のルールを説明した。経営士補から2年以上経過を削除することを前提に全会一致で承認された。

第6号議案：令和4年度経営士論文発表会（Zoom）日程とテーマについて

近藤専務理事より発表会日程、テーマ、募集、締切案の説明があり、全会一致を以って承認された。発表会の日程は12月3日（土）で確定した。

第7号議案：経営士・環境経営士入会承認について

児玉理事が経営士入会候補者2名、前回保留の1名の経歴等を説明し、全会一致を以って承認された。

また、環境経営士5名について近藤専務理事が経歴等を説明し、全会一致を以って入会が承認された。

第8号議案：委員会委員変更について

児玉理事より資格審査委員会の新委員長、委員候補が提出され、仮承認された。（定時社員総会後の理事会にて正式に審議を行う）

以　上

2022年度「研究論文大募集」

― 包括テーマ ―

『CSR / CSV経営、SDGs、ESG投資』

～持続可能な世界へ、ビジネスと社会を変革する経営士の活動～

経営士全国研究会議は2年に1度の隔年開催になりました関係で、西暦偶数年度は論文発表会の開催を行います。本年度はサスティナブル・マネジメント・センターがスタートした年ですので、これに因んだテーマといたします。是非とも多数の応募をお待ちしております。

募 集 要 領

■資　　格　：　一般社団法人日本経営士会　会員

■論文テーマ　：　①包括テーマに準拠するもの
②その他、経営士としてのコンサル活動をテーマにしたもの

■事 前 申 請　：　応募を希望される場合は、2022年9月30日（金）までに
氏名、会員番号、支部名、論文テーマを事務局あてにメールにて申請してください。
事務局メールアドレス：office@nihonkeieishikai.com

■執 筆 要 綱　：　日本経営士会研究論文執筆要綱による（下段参照）

■論文締切り　：　2022年10月31日（月）

■応 募 方 法　：　ワードで作成のうえ。メール添付またはデータを下記へお送りください。
〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A.二番町ビル5階
事務局メールアドレス：office@nihonkeieishikai.com
TEL：03-3236-0691 ／ FAX：03-3239-1831

■日　　程　：　・9月30日（金）　エントリー締切
・10月31日（月）　論文締切
・11月中旬　論文審査
・12月3日（土）　AMCJクロッシング　交流会にて優秀論文発表・表彰
（ZOOM）

日本経営士会　研究論文執筆要綱

この論文執筆要綱は、日本経営士会が一般社団法人としてオープンな組織を目指し、会員の研究論文の社会的価値を高めることを目的に定めるものである。

＜形　式＞

◇原稿はパソコンで作成する。
◇文字字体は、MS明朝体で作成する。
◇原稿のサイズは、A4用紙縦置き横書きとし、余白は上下3.5センチ、左右3センチとする。
◇文字の大きさは、見出しについては12ポイント、論文要旨8ポイント、本文10.5ポイントとする。謝辞・あとがきは10.5ポイント、参考文献等8ポイントとする。
◇文章は常用漢字と現代仮名使いとし、アルファベットは活字体とする。
◇数字は半角数字を原則とする。ただし、見出し等については全角数字を許容する。
◇原稿枚数は、A4用紙8枚以上、10枚以内とし、ページ番号を記載する。

＜論文の構成＞

◇表　題
◇要　旨
◇本　文　（緒言、研究・調査方法、結果･考察、結論）
◇謝　辞／あとがき
◇補注、図表、参考文献

＜表　題＞

◇表題（タイトル）は下記のように記載すること。

論文タイトル　：○○○○○○○○○○
（副題がある場合にはカッコ書きで記載）
著者名　：○○ ○○
会員番号　：（○○○○）
所属支部・県会：○○○支部・○○県会

＜要　旨＞

◇要旨は、表題に続いて記述する。
◇要旨は、論文のおおよその内容を要約し、300字～500字以内で記述する。

＜本　文＞

◇本文は、要旨から2行をあけて記述する。

◇本文は、「緒言」「研究・調査方法」「結果・考察」「結論」の順に記述する。

◇「緒言」とは、本論文の意義や目的などを記述するもの。

◇「研究・調査方法」とは、研究・解析・調査など、実際に取組んだ手段・方法等について記述するもの。

◇「結果・考察」とは、研究・調査の結果、成果の考察、既知見との関係などについて記述するもの。

◇「結論」とは、研究・調査によって得られた結論に対する総合的な記述。

◇「謝辞／あとがき」は、本文に続いて、調査・研究・執筆における協力者へ感謝の意を述べる。（通常、研究などは協力者があって実現することが多いことから、社会通念上の礼儀として必ず謝辞を述べる）

＜補注、図表、参考文献＞

◇「補注」を必要とする場合は、本文該当箇所に番号等で明示し、参考文献の前に、一括して番号をつけて掲載する。

◇「図表」は、直接原稿に貼り付け、本文と図表を関連づける「図番号・表番号」をつけて記載する。

◇「参考文献」は、本文や補注で言及したもの、及び図表で引用した全てのものを、引用順に番号をつけて文末にまとめて記載する。（自著も含む）

記載の方法は、「著書タイトル」、「著者名（フルネームで）」、「出版社名」、「発行年（西暦で）」の順に記載する。

例：『地球環境論』平成太郎　日本環境出版社（2007年）

『JIS環境マネジメント2007』　日本規格協会（2007年）

なお具体的に引用をした場合には、上記の他に引用をしたページを記載する。

また同時に引用した箇所には、肩括弧で参考文献の連続番号を付記する。

◇インターネットからの引用は、「ホームページ名」、「URL」、「アクセス日」を明記する。

＜論文の制限および著作権＞

◇他の団体等に投稿した論文（明らかに同文と思われる部分掲載を含む）は受理しない。後日発覚した場合は評価の取り消しを行なう。

＊「団体等」とは規模の大小を問わず、財団法人、社団法人は勿論の事、学会、組合、市民団体を含めた広義の全ての集合体を指す。

◇当会に投稿した論文は、未発表のものに限る。経営士全国研究会議等における正式な発表までは、公表を禁止する。

◇研究論文の著作権は本人に帰属する。

◇研究論文の著作権の使用（複製権・翻訳権・出版権）については、一般社団法人日本経営士会に帰属する。ただし、本人が自らの用途に使用することについては制限しない。

事業部・委員会活動

第55期経営士養成講座開催

塾長　山田　一（千葉支部）

第55期経営士養成講座が本部・中日本ブロック共催、千葉支部主管で5月28日より開始されました。本講座は毎週土曜日に開かれ、7月30日まで全10日間で行われます。コロナ禍とあって講座開催が危ぶまれましたが、お陰様で第1日目の5月28日を迎えることができました。

本講座の概要と特徴は以下の通りです。

リアル方式講座　：5月28日（開講式）、6月18日（実務研修）、7月30日（終了式）

オンライン方式　：6月4日、11日、25日、7月2日、9日、16日、23日

※実務研修（企業訪問）もリアル・オンライン併用のハイブリッド方式で実施する予定

受講者数　：7名

（うち1名はタイ国バンコックよりZoomでの参加）

追加ワークタイム：毎週水曜日の夜午後8時より強制ではないが、極力時間を作っていただきZoom参加の上各自の課題提出のチェック、実務研修に関する打ち合わせ、報告書作成の時間にあて千葉支部会員がフォロー。

Slackシステム採用：Slackというコミュニケーションツールを使って講座内容を共有化し、スタッフ・受講生が自由に、そして常にコミュニケーションが取れるようにしている。

また、全講座の講義関係資料、受講後に提出が必要な14講座の課題及び提出レポート、小論文やアンケート類、さらに事務局の講座運営に関係する管理資料等もSlack上で情報共有している。

（初日は開講式を含めリアルで行われた）

事業部・委員会活動

2022年度第1回経営支援アドバイザー養成講座開催

経営支援事業部

5月14日、20、21日の全3日間のコースで、オンライン講座を実施し、受講者は新規者17名、リカレント(再受講者)17名に参加いただきました。特に中国支部会員から多数受講いただき、関係者のご支援ご助力に感謝申し上げます。

今回のプログラムは経営革新等支援機関の他に目下実施されている補助金の紹介と記載方法について盛り込んだ内容としたため、3日間となりました。また毎回講義終了後に確認試験とアンケート作成の時間を設けました。

既にアドバイザー資格者は130名余りの登録を数えておりますが、事業再構築補助金をはじめとして、認定経営革新等支援機関が関与する中小企業支援制度が増えている中、当講座への関心の高さを感じられました。

コロナへの対応支援からポストコロナの成長支援へ制度変更も進んでおり、講座では最新の制度情報を紹介すると共に当会としての活動状況についての説明が行われました。特に環境政策を反映した新たな補助金制度(事業再構築補助金のグリーン成長枠、炭素生産性向上指標が審査対象のものづくり補助金グリーン枠など)が新設されたことを受けて、講座開講に先立ち、環境事業部やBSCとプレセミナーを共同開催するなど会員への事前案内活動も実施いたしました。当日参加ができない受講者には、ビデオ受講方式も可能とするなどの改善も、アンケート意見を参考に継続的に進めております。

第2回講座は秋頃(10月ごろ)に経営改善計画の作成支援等を中心とした内容で開催予定としております。皆様方の積極的なご参加をお願いいたします。

(文責:小池 基美男)

事業部・委員会活動

経営支援アドバイザーに「更新制度」を導入しました

経営支援事業部

この5月、経営支援事業部では理事会のご承認を得て掲題制度を導入、即日実施しました。本制度の詳細については当会HPに記載してありますので、下記URLからご参照ください。

URL：https://nihonkeieishikai.com/member-contents/　（パスワード member）

本稿では、本制度の背景・骨子について概説します。

【　本件導入の背景・制度の狙い　】

まず、経営支援アドバイザー（以下、「アドバイザー」と言う）について説明します。当会は国が定めた認定経営革新等支援機関（以下、「認定支援機関」と言う）ですが、これを活用して具体的に国の中小企業支援諸制度に関与出来る、会内部の独自の資格です。

認定支援機関は国の中小企業施策の一環を担っております。特に、コロナを一つの契機として、国は中小企業の構造変革を進めており、各種施策において、「事業計画を認定支援機関と共同で策定すること」が要件化され出しました。当然、認定支援機関の関与業務も拡大、その業務内容も遥かに多量且つ複雑なものと変化しました。誤解を畏れずに書けば、「ビジネスチャンスや報酬が飛躍的に増大」しました。国の各種制度の新設は勿論、従来の制度も大きく改編され、数年前とは様変わりとなりました。これらの改正の動きは止まることなく、日進月歩で進捗。万一、数年前の知識のまま対応すれば、顧客をミスリードする懸念大と言わざるを得ない状況が現出しております。

経営支援事業部としても、従来のアドバイザー養成講座に加え、前年度から最新情報についての無料勉強会やBSC（補助金サポートクラブ。自発的な中小企業支援の勉強会＆実践活動）との共同セミナー開催等対応してまいりました。一方、アドバイザー希望者も着実に増加、130名を超える規模になった今、全員のフォローアップには自ずと限界があります。

そこで他の当会内部資格及び世間の各種資格・免許（中小企業診断士、運転免許等）と同様、更新制度導入により、**各人の不断のレベルアップを促し**、その為のインフラを整えました。

【　具体的内容　】

各アドバイザーの登録日から**3年後**（上期、下期単位の運営。3年目応当日の属する各半期末日まで）を**有効期日**とします。この間、**認定支援機関業務**（それに準じるものを含む）または**養成講座受講**（所謂リカレント、受講料は概ね正規料金の1割程度。ビデオ視聴可。確認試験合格、アンケート回答必須）により、その有効期日は**更に3年延長**されます。

更新対象となる業務等の詳細はHPをご参照ください。経過措置期間も設けました。

近々、登録日が前期以前のアドバイザーには事務局から当面の有効期日をお知らせします。

また、有効期日の1年前から「更新対象となる業務等を行ったことの申告」の受付が可能となります。その通知（申告受付開始）も事務局から行いますので、ご心配なく。

（文責：横田　英滋）

事業部・委員会活動

『地方創生SDGs 官民連携プラットフォームHP』リニューアル「“amcj 活動継続”」

SDGs事業部

■URL: https://future-city.go.jp/platform/

※内閣府　地方創生推進事務局／運営事務局は、
2022年度より凸版印刷株式会社殿が担当されます。

1 普及促進活動　広がる!

▌会員が主催するイベント等の情報をメールマガジン等で発信・受信することができます。

▌会員が開催するセミナー等に対する本プラットフォームの後援名義等の使用が可能です。

2 マッチング支援　繋がる!

▌会員が実現したいこと、会員が抱える課題、会員が持つノウハウを蓄積したデータベースを閲覧・利用することができます。

▌マッチングシートや入会時アンケート等をもとに、解決したい課題を持つ会員と、解決策やノウハウを持つ会員とのマッチングをサポートします。

▌本プラットフォームが主催するマッチングイベントに参加することができます。

3 分科会開催　学べる!

▌会員の提案に基づいて分科会を設置。会員に共通する課題の検討、知見の共有、取組の具体化を進め、異分野連携・官民連携による、地方創生に繋がる新事業の創出を目指します。

▌本プラットフォームの会員になることで、新たな分科会提案や、設置された分科会への参加が可能となります。

(出典: 内閣府HPより引用)

日本経営士会は会員登録により、前項の「内閣府 HP」よりログイン可能となりました!!

以下のページが本会のマイページで、２つの分科会が承認・掲載されました。[2022/06/02/18:25]

■URL: https://match.future-city.go.jp/pages/platform/b301

【SDGs 事業部: 本田　哲行】

事業部・委員会活動

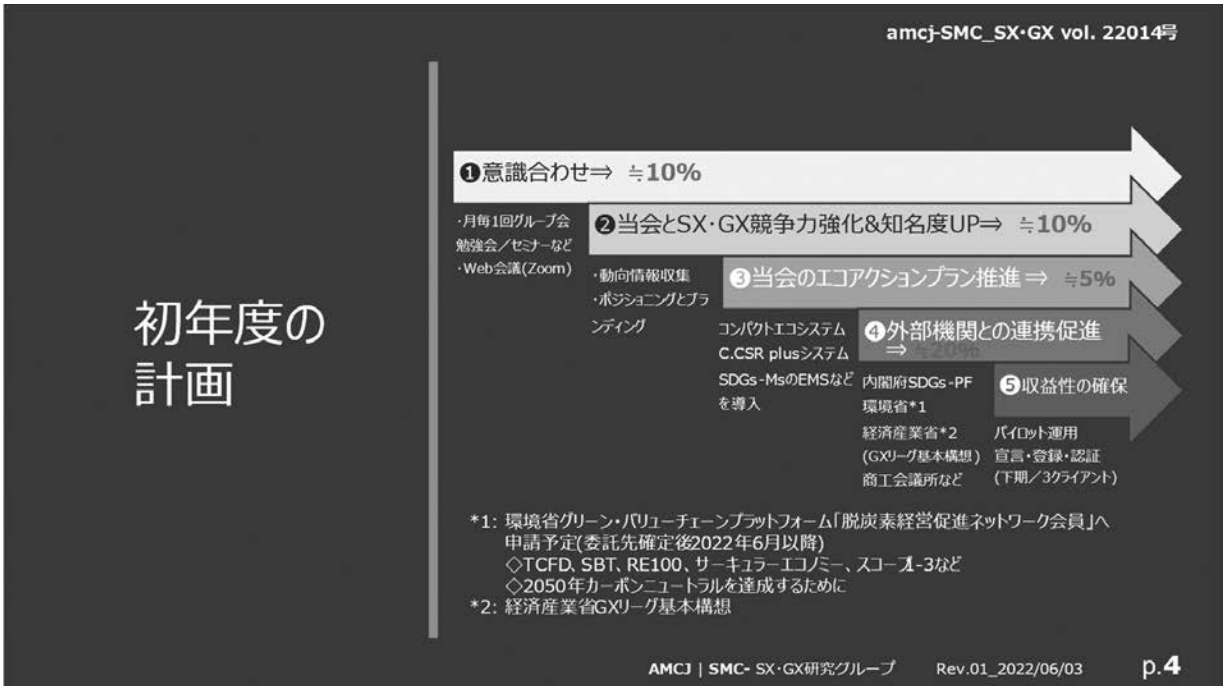
サスティナブルマネジメントセンター（SMC） SX・GX研究グループ報告

SMC-SX・GX研究グループ

本年度、4月に設立された「サスティナブルマネジメントセンター（SMC）」のSX・GX研究グループは、各支部のメンバー 9名より構成され第1四半期の活動として、当研究グループの意識合わせなどよりスタートしました。また、本年2月1日に経済産業省より「GXリーグ基本構想」を公開され、3月31日まで、同基本構想の内容に賛同する企業の募集が行なわれ、本会・当研究グループにおいても「GXリーグ賛同企業」と共に、カーボンニュートラルに向けた社会変革と新たな市場創造の取り組みを賛同した440社の1組織として推し進めることとなりました。

以下の通り報告いたします。

1. SX・GX研究グループ 初年度の計画とマイルストーン



2．「GXリーグ基本構想」

本会は、経済産業省が本年2月1日に公表した「GXリーグ基本構想」に対し、「GXリーグ基本構想」の示す方向性に賛同し、また、GXリーグに関する下記の事項に同意しました。

❶基本構想に沿ったGXリーグを実装するために、GXリーグの詳細設計に係る議論、実証事業に積極的に参加すること。

❷基本構想に賛同していること及び本フォーマットの記載情報（申請者に関する情報及び「3（実施希望項目）」に記載した情報を除く。）が公開されること。

■GXリーグが提供する三つの取り組み

✎**未来社会像対話の場**　▶2050年カーボンニュートラルのサスティナブルな未来像を議論・創造する場

✎**市場ルール形成の場**　▶カーボンニュートラル時代の市場創造やルールメイキングを議論する場

✎**自主的な排出量取引の場**　▶自ら掲げた目標の達成に向けて自主的な排出量取引を行う場

※具体的な今後の進め方・スケジュールについては、外部に対しても、GXリーグ特設サイト：https://gx-league.go.jp/ を通じて公開されております。

GX リーグ 2022 キックオフイベント

◇開催日時：2022年6月10日（金曜日）／10:00～12:00

◇参　　画：一般社団法人日本経営士会・サスティナブルマネジメントセンター（SMC）SX・GX研究グループ

◇主　　催：経済産業省、運営事務局（株式会社野村総合研究所、株式会社博報堂DYホールディングス）

◇開催形式：会場参加（University of Creativity及びZoomウェビナー）
オンライン配信（Zoom、Slack）のハイブリッド形式

■ GX リーグ 2022 キックオフイベント概要

プログラム	内　容
▶第1部キックオフセレモニー　10:00~10:40	
開会のあいさつ	◊萩生田 光一氏　経済産業大臣
経済界からのメッセージ	◊十倉 雅和氏　一般社団法人 日本経済団体連合会 会長（住友化学会長） ◊髙島　誠氏　一般社団法人 全国銀行協会 会長（三井住友銀行頭取）
関係省庁からのあいさつ	◊和田 篤也氏　環境省 総合環境政策統括官 ◊井藤 英樹氏　金融庁 政策立案総括審議官
賛同企業による プレゼンテーション	◊小川 立夫氏　パナソニックホールディングス株式会社 執行役員 ◊馬渡 謙一郎氏　三菱ケミカル株式会社 グリーントランスフォーメーション推進本部長 ◊出雲　充氏　株式会社 ユーグレナ 代表取締役社長
▶第2部キックオフセッション　11:00~12:00	
オープニングセッション	◊梶川　文氏　経済産業省 産業技術環境局 環境経済室長
	Ⅰ GXディスカッション Ⅱ GXリーグ取組紹介 Ⅲ クロージング

注記：賛同企業外への情報公開に関する原則

①賛同企業内での議論内容は、原則として、賛同企業外には公開しない。

②賛同企業外への議論状況の共有・広報については、事務局が賛同企業に確認をしながら実施する。

以上

【SMC-SX・GX研究グループ：本田　哲行】

事業部・委員会活動

令和3年度MPPポイント取得と保有のご報告及び、MPPリーダー登録有効期間のお知らせ

MPP委員会

昨年度もコロナの影響にてMPPのみならず、様々な会合が中止または、リモートによる開催となりました。そのような状況下でも、会員各位のご尽力により、いくつかのMPPは、オンラインにより開催されました。昨年度のMPPポイント取得状況をご報告いたします。

また、MPPリーダー更新研修は、コロナ禍において年度後半にオンラインにより実施し、その登録有効期間状況をご報告いたします。引き続きMPPリーダー更新・養成研修を計画していきますので、ご参加いただければと思います。

■MPP高単位保有者一覧〈通算50単位以上〉

会員番号	氏　名	支　部	令和3年度までの累計
2680	日野　隆生	東　京	465
3053	李　孟熹	台湾特別	412
3970	塚本　裕宥	北関東	382
4096	阿部　幸男	南関東	382
4418	河上　晃	近　畿	321
4544	近藤　安弘	南関東	285
2972	張　銘江	台湾特別	283
3584	鈴木　健	南関東	281
3343	邱　炳輝	台湾特別	218
4334	謝　明堂	台湾特別	215
2022	磯部　正美	北関東	193
4516	陳　信安	台湾特別	191
4595	黄　世欽	台湾特別	187
4802	邱　黎燦	台湾特別	167
4804	陳　木梓	台湾特別	167
4905	陳　益世	台湾特別	158
3686	鈴木　勇	北関東	154
2042	木村　泰博	北関東	154
4760	島影　教子	東　京	150
442	渡部　喜政	東　北	144
4994	一瀬　良之	南関東	143
2421	大内　正雄	九　州	132
2041	渡辺　良男	北関東	127
5179	北原　雅人	近　畿	113
5117	陳　俊硯	台湾特別	113
5276	竹岡　栄徳	近　畿	112
5116	荘　翔斌	台湾特別	110
3176	桒山　一宏	北関東	108
2719	林　久雄	千　葉	108
4997	松永　桂子	南関東	102
4412	東原　實	四　国	102
1340	髙橋　幸雄	南関東	101
5221	蔡　有義	台湾特別	96
2323	藤原　義博	九　州	95
1150	出村　忠廣	南関東	93
4269	齋藤　誠一郎	東　京	92
4018	松尾　實	東　京	90
4705	岩井　美喜夫	四　国	86
4054	神﨑　進	九　州	85
834	髙橋　栄一	南関東	83
4733	広瀬　典仁	南関東	82
1112	森川　昇	北関東	81
911	鈴木　祥浩	近　畿	78
環境経営士	津田　嵩	南関東	77
5199	三品　富義	中　部	76
2306	山本　正樹	中　国	76
2452	鶴岡　義明	千　葉	73
1121	中野　澄雄	中　国	71
4784	土橋　留美子	東　京	70
3894	田中　實	東　京	65
5278	宇和野　敦子	近　畿	63
4624	臼井　邦夫	北関東	61
4945	江尻　敏彰	中　国	61
2256	小林　敏雄	埼　玉	59
4311	高村　一文	北海道	58
2929	山本　英夫	南関東	58
5061	江　致平	台湾特別	58
3116	伊藤　彰彦	南関東	57
3966	庄司　芳昭	東　北	56
2311	高田　英二	四　国	55
3872	加藤　健二	中　部	51

（敬称略）　（令和４年３月31日現在）

■令和3年度MPP単位取得者一覧表

会員番号	氏　名	支　部	取得ポイント	会員番号	氏　名	支　部	取得ポイント
2680	日野　隆生	東　京	17	5061	江　致平	台湾特別	4
5434	鈴木　裕之	北関東	16	5110	江口　敬一	中　部	3
5433	粉川　雅人	北関東	12	4516	陳　信安	台湾特別	3
5598	高　芳眞	台湾特別	12	5462	劉　邦寧	台湾特別	3
4890	西山　茂	北関東	10	3686	鈴木　勇	北関東	2
4994	一瀬　良之	南関東	10	4459	柴沼　功	北関東	2
4705	岩井　美喜夫	四　国	10	5345	吉村　千鶴子	北関東	2
2972	張　銘江	台湾特別	10	賛助会員	大橋　守	北関東	2
2022	磯部　正美	北関東	9	4624	臼井　邦夫	北関東	2
2041	渡辺　良男	北関東	9	5525	相場　清人	北関東	2
3343	邱　炳輝	台湾特別	9	5444	山下　由紀子	北関東	2
4905	陳　益世	台湾特別	9	4544	近藤　安弘	南関東	2
2042	木村　泰博	北関東	8	4899	小原　啓子	中　国	2
3176	桒山　一宏	北関東	8	5182	福田　幸雄	中　国	2
5199	三品　富義	中　部	8	5220	板平　憲洋	中　国	2
4418	河上　晃	近　畿	8	2323	藤原　義博	九　州	2
4804	陳　木梓	台湾特別	7	5566	西尾　英幸	九　州	2
5116	荘　翔斌	台湾特別	7	5123	李　啓華	台湾特別	2
5221	蔡　有義	台湾特別	7	5523	呉　聰毅	台湾特別	2
5112	川西　健雄	四　国	6	3970	塚本　裕宥	北関東	1
4334	謝　明堂	台湾特別	6	5354	大内　雅功	北関東	1
4802	邱　黎燦	台湾特別	6	5501	竹俣　大介	北関東	1
4733	広瀬　典仁	南関東	5	5622	東ヶ崎　鈴子	北関東	1
5203	内海　信一	四　国	5	1112	森川　昇	北関東	1
4054	神﨑　進	九　州	5	5361	大蔵　充夫	東　京	1
3053	李　孟熹	台湾特別	5	5568	岩井　徹朗	東　京	1
4595	黄　世欽	台湾特別	5	5560	外岡　圭子	南関東	1
5117	陳　俊硯	台湾特別	5	5481	江藤　昭人	南関東	1
5443	何　鴻鈞	台湾特別	5	5394	服部　正雄	中　部	1
4311	高村　一文	北海道	4	5489	吉田　文武	中　部	1
4658	溝渕　新蔵	北海道	4	5601	溝口　保行	中　部	1
5167	木股　悟志	北関東	4	経営士補	大橋　康子	中　部	1
4760	島影　教子	東　京	4	経営士補	奥村　まみ子	中　部	1
4784	土橋　留美子	東　京	4	経営士補	田畑　守行	中　部	1
4886	鈴木　和男	東　京	4	環境経営士	溝口　知秀	中　部	1
3584	鈴木　健	南関東	4	3350	川出　泰造	中　国	1
2929	山本　英夫	南関東	4	3731	山内　博晶	中　国	1
4613	竹内　一登	南関東	4	5520	石井　サト子	中　国	1
4996	小宮山　千恵子	南関東	4	5460	綿谷　孝司	中　国	1
4997	松永　桂子	南関東	4	4412	東原　實	四　国	1
5347	梅本　泰則	中　部	4	5205	出口　経尊	四　国	1
5365	今枝　健治	中　部	4	5231	丸山　浩三	四　国	1
5574	遠藤　欣秀	中　部	4	5324	松岡　亜紀子	四　国	1
5613	江尻　靖進	中　部	4	5618	森本　正文	四　国	1
5179	北原　雅人	近　畿	4	5579	今村　純也	九　州	1
4481	伊藤　綱男	四　国	4	4657	西尾　廣幸	九　州	1
4959	陳　俊栄	台湾特別	4	4331	志村　郁夫	九　州	1

（敬称略）　（令和４年３月31日現在）

■令和3年度MPP単位取得者　外部参加者一覧表

氏　　名	都道府県	市町村	取得ポイント	氏　　名	都道府県	市町村	取得ポイント
本間　美香子	新潟県	新潟市	4	杉山　雅人	新潟県	新潟市	1
宋　　桑枝	台湾特別	—	4	橋本　琢磨	新潟県	新潟市	1
本間　透修	新潟県	新潟市	2	中山　弘史朗	新潟県	長岡市	1
南口　　誠	新潟県	長岡市	2	重田　　謙	新潟県	長岡市	1
萩原　　玄	埼玉県	さいたま市	2	勝身　麻美	新潟県	長岡市	1
張　　芳柴	台湾特別	—	2	松井　美浩	新潟県	新潟市	1
林　　青	台湾特別	—	2	畠山　知子	広島県	広島市	1
王　　美芳	台湾特別	—	2	河野　佳苗	広島県	東広島市	1
李　　佣分	台湾特別	—	2	石田　眞南	広島県	東広島市	1
加藤　　誠	新潟県	長岡市	1	顔　　美人	台湾特別	—	1
瀬賀　孝子	新潟県	新潟市	1	黄　　炳龍	台湾特別	—	1

（敬称略）　（令和４年３月31日現在）

MPPリーダー登録有効期間及び養成・更新研修のご案内

MPPリーダー登録有効期間の一覧表を次ページにて掲載しております。MPPリーダーは5年毎に更新研修を受講する必要がありますが2年間の「受講」猶予があります。しかしながら今回は、コロナの影響により、特例により「受講」猶予を伸ばしております。現在、MPPリーダーの方は、再度、登録有効期間を確認していただき、更新研修を受講して戴きたくお願いいたします。

また、MPPリーダー養成研修もしばらく実施されていませんでしたが、更新研修と同時に下記内容にて開催いたしますので、積極的にMPPリーダー資格を取得していただきたく思います。

MPPリーダー養成研修受講資格は、MPP20ポイント取得ですが、10ポイント以上で支部長の推薦を受けた方も対象となります。但し養成研修受講後、2年以内に20ポイント取得が義務となります。

◆MPPリーダー養成・更新研修予定

日　　時：11月19日（土）　MPPリーダー養成研修
　　11月20日（日）　MPPリーダー養成・更新研修

開催場所会場：新潟東映ホテル　及び　新潟ユニゾンプラザ

参 加 費：MPPリーダー養成研修【2日間】　34,000円
　　MPPリーダー更新研修【1日半】　24,000円

受講費用、テキスト代　19日昼食、懇親会費、宿泊費（一泊朝食付）、20日の昼食、諸経費含む

※更新研修者は、11月19日（土）13：00集合、昼食はありません。

※更新は通常1日ですが、北関東支部MPPと併催により1日半となります。

■MPPリーダー登録有効期間一覧表

会員番号	氏　名	支　部	登録有効期間
4311	高村　一文	北海道	2026
4658	溝渕　新蔵	北海道	2026
4606	庄司　孝一	東北	2019
3673	岡崎　充男	東北	2024
4554	加藤　和弘	東北	2024
3966	庄司　芳昭	東北	2024
5398	桔梗　美紀	東北	2023
2358	佐藤　光子	東北	2024
2719	林　久雄	千葉	2022
2452	鶴岡　義明	千葉	2023
2256	小林　敏雄	埼玉	2023
4909	中杉　保雄	埼玉	2023
4755	佐藤　信枝	埼玉	2023
4458	小西　洋三	埼玉	2024
3686	鈴木　勇	北関東	2023
3970	塚本　裕宥	北関東	2024
5167	木股　悟志	北関東	2026
1112	森川　昇	北関東	2024
2022	磯部　正美	北関東	2022
2041	渡辺　良男	北関東	2022
2042	木村　泰博	北関東	2022
3176	桒山　一宏	北関東	2022
4890	西山　茂	北関東	2022
1709	茨木　智	北関東	2022
4575	平岡　武	北関東	2022
4624	臼井　邦夫	北関東	2023
4760	島影　教子	東京	2023
4886	鈴木　和男	東京	2026
2680	日野　隆生	東京	2023
4784	土橋　留美子	東京	2026
834	高橋　栄一	南関東	2023
3584	鈴木　健	南関東	2026
4881	金子　勝祐	南関東	2023
環境経営士	津田　嵩	南関東	2024
5153	藤原　義宏	南関東	2019
4613	竹内　一登	南関東	2026
2929	山本　英夫	南関東	2026
4544	近藤　安弘	南関東	2022
4733	廣瀬　典仁	南関東	2022
4994	一瀬　良之	南関東	2022
4996	小宮山　千恵子	南関東	2025
4997	松永　桂子	南関東	2025
5162	渡邉　敏徳	南関東	2019
5199	三品　富義	中部	2022

会員番号	氏　名	支　部	登録有効期間
4848	宮川　晃	近畿	2022
4418	河上　晃	近畿	2026
5179	北原　雅人	近畿	2026
経営士補	竹岡　栄徳	近畿	2022
5371	仲田　頼継	近畿	2022
2306	山本　正樹	中国	2022
4513	石田　茂	中国	2024
4947	上瀬　博暁	中国	2019
4945	江尻　敏彰	中国	2019
4899	小原　啓子	中国	2024
3350	川出　泰造	中国	2019
4412	東原　實	四国	2022
4705	岩井　美喜夫	四国	2026
4481	伊藤　綱男	四国	2026
4116	塚元　啓幸	四国	2021
5112	川西　健雄	四国	2026
5203	内海　信一	四国	2026
5327	加藤　佳子	四国	2021
5323	旅田　佳彦	四国	2021
2421	大内　正雄	九州	2022
4054	神﨑　進	九州	2026
2323	藤原　義博	九州	2022
5014	案浦　浩二	九州	2022
2657	湯川　清美	九州	2022
4712	八幡　憲一郎	九州	2022
2972	張　銘江	台湾特別	2024
3053	李　孟熹	台湾特別	2025
3343	邱　炳輝	台湾特別	2022
4334	謝　明堂	台湾特別	2024
4595	黄　世欽	台湾特別	2024
4516	陳　信安	台湾特別	2024
4905	陳　益世	台湾特別	2022
4802	邸　黎燦	台湾特別	2022
4804	陳　木梓	台湾特別	2024
4959	陳　俊榮	台湾特別	2024
5221	蔡　有義	台湾特別	2025
5116	荘　翔斌	台湾特別	2022
5123	李　啓華	台湾特別	2025
5117	陳　俊硯	台湾特別	2024
5443	何　鶏釣	台湾特別	2024
5462	劉　邦寧	台湾特別	2024
5523	呉　聰穀	台湾特別	2024
5598	高　芳眞	台湾特別	2024

（敬称略）　（令和４年３月31日現在）

2022年度北関東支部MPPのご案内

MPPと古町芸妓の夕べ

（MPPリーダー養成・更新研修併催）

北関東支部では、毎年5県会の持ち回りで支部MPPを一泊二日（2ケース）で開催し、研鑽と支部会員の交流を図っています。全国研とコロナ禍で3年振りの開催となります。

本年は、新潟県会の主管で、全国研同様に交流懇親会に古町芸妓衆を招き、舞と新潟銘酒をお楽しみいただきます。

今回は、MPPリーダー養成・更新研修を併催するため、北関東支部に限らず、全国からご参加いただけます。コロナ禍で各支部でのリアルMPP、養成・更新研修の開催が、難しい状況が続いていますので、この機会をご活用ください。

記

会　　期　2022年11月19日（土）～11月20日（日）

11月19日（土）

13：00	新潟東映ホテル集合・移動
13：30 ～ 17：00	MPP
18：30 ～ 20：30	交流懇親会

11月20日（日）

9：00 ～ 12：00	MPP
12：00 ～ 13：00	ランチ懇親会終了後解散

会　　場　新潟東映ホテル　（交流懇親会・宿泊・2日目MPP）
新潟ユニゾンプラザ　（1日目MPP）

参 加 費　15,000円（税込）　※当日お支払いください。
宿泊費（一泊朝食付）、懇親会費、20日の昼食、諸経費含む
※基本禁煙ルームです。（喫煙ルームご希望の方はお申し出ください。）
※前泊・後泊も承ります。一泊朝食付7,000円（税込）　駐車場あり、一泊800円

申し込み先　北関東支部事務局　メール：kuwayaam@keieishien.org
MPP参加希望、氏名　所属支部、交通手段、電話又は携帯番号を明記、上記メールアドレスにご連絡ください。

以上

※MPPリーダー養成・更新研修は別頁をご参照ください。

事業部・委員会活動

北関東支部主催

MPPリーダー養成・更新研修のご案内

（北関東支部MPP併催）

北関東支部では、支部MPPに合わせ開催県会のメンバーを中心に、MPPリーダー養成・更新研修を開催しています。支部MPPとの併催になります。今回は懇親会に全国研同様に古町芸妓衆を招き、舞と新潟銘酒をお楽しみいただきます。コロナ禍で各支部でのMPPリーダー養成・更新研修の開催が難しい状況が続いています。MPP委員会から広く募集をしてもらいたいと依頼を受けております。是非この機会をご活用ください。

記

会　　期　　2022年11月19日（土）～11月20日（日）

11月19日（土）　MPPリーダー養成研修

10：00 ～ 12：15　　講義

12：20 ～ 13：00　　昼食

13：00 ～　　移動（新潟県会の車で）

13：30 ～ 17：00　　MPPリーダー体験

18：30 ～ 20：30　　交流懇親会（東映ホテル）

11月20日（日）　MPPリーダー養成・更新研修

9：00 ～ 12：00　　MPP体験

12：00 ～ 13：00　　ランチ懇親会

13：10 ～ 16：30　　講義・修了書授与　解散

会　　場　　新潟東映ホテル　及び　新潟ユニゾンプラザ

参 加 費　　MPPリーダー養成研修　34,000円

MPPリーダー更新研修　24,000円

受講費用、テキスト代　19日昼食、懇親会費、宿泊費（一泊朝食付）、20日の昼食、諸経費含む

※更新研修者は、13：00集合で、昼食はありません。

※基本禁煙ルームです。（喫煙ルームご希望の方はお申し出ください。）

※前泊・後泊OK一泊朝食付7,000円（税込）　駐車場あり、一泊　800円

申し込み先　　北関東支部事務局　メール：kuwayaam@keieishien.org

養成・更新研修希望、氏名　所属支部、交通手段、電話又は携帯番号を明記、上記メールアドレスにお申込みください。

以上

事業部・委員会活動

NJK女性経営士の会 委員会からのお知らせ

(一社)日本経営士会が独自に開発したケースメソッド式による経営能力開発プログラム

2022年(令和4年度)女性リーダーによるMPPのご案内

NJK女性経営士の会

今年度は従来のリアル開催でMPPを実施致します。限定3チームとなっておりますので、お早めにお申込み下さい。皆さまのご参加お待ちしております。

MPPとは？ Management Professional Program の略、(一社)日本経営士会が独自開発した、ケースメソッドによる経営能力開発の研究プログラムです。
保有する経営士の実例をもとにした他業種、多彩なケース(課題)を業種や立場、専門領域の異なる、あるいは、同領域の少人数の複数グループで並行して協議検討し、それぞれのグループで導く多彩な考えを発表共有します。その過程、疑似体験を通して得られる考え方や、異なった角度からの気づかなかった視点が触発され、専門性を超えた広がりやグループでの共感的資産を形成「問題解決型」から「問題思考型」の思考に変革、情報交流の機会づくり、「チームマネジメント」の意識を高めた能力、ナレッジマネジメントの創発にも効果を期待できるなど、現在、広く企業・団体の方々に普及し活用頂いているプログラムです。

開催日：令和4年 8月 27日(土) 13：00～16：00

場　所：〒102-0083 東京都千代田区二番町12-12
B.D.A二番町ビル5階
日本経営士会 本部会議室

電　話：03－3239－0691(代表)

対　象：どなたでもご参加頂けます。

会　費：2,000円

お申込み：以下の①～③いずれかの方法でお申込み下さい。

① NJK女性経営士の会 吉村へメール：yoshimurachizuko@gmail.com

② 本部へメール：office@nihonkeieishikai.com

③ 本部へFAX：氏名・会社名・ご住所・電話番号・e-mailを記載の上お申し込み下さい。
本部FAX　03-3239-1831

※振込口座は下記でお願い致します。(お振込み期限8月25日(木))
三井住友銀行　麹町支店(支店番号：218))普通預金　7166277
一般社団法人日本経営士会(ニホンケイエイシカイ)

※振込手数料はお客様負担でお願い致します。また領収書は振込のご利用明細書をもちまして領収書に代えさせていただきます。

「TAMAマネジメント研究会」の企業見学の報告
見学先：東京都羽村市　（株）NISSYO

TAMAマネジメント研究会

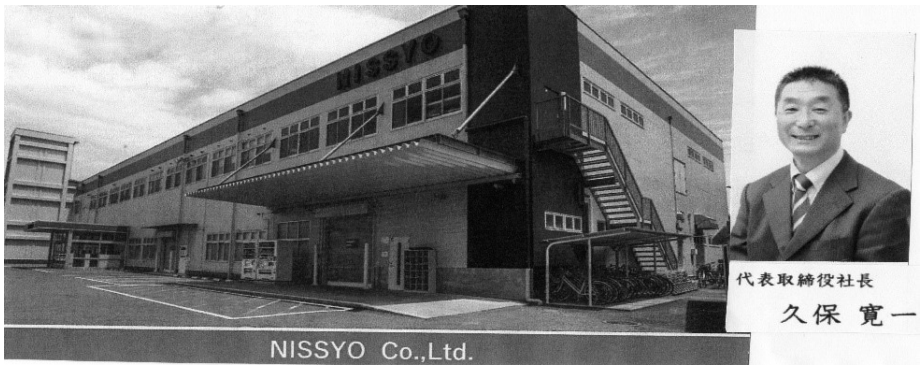
TAMAマネジメント研究会恒例の企業見学会が2022年4月22日（金）開催されました。

今回の企業訪問は、ありえない！町工場で脚光を浴びている東京都羽村市の（株）NISSYOです。当社には、2015年にも旧日昭工業㈱の時代にTAMAマネジメント研究会で見学させていただいておりますが、その時は東京都青梅市の旧本社・工場でした。

その後2017年に東京都羽村市に本社・工場移転、2018年に社名を（株）NISSYOに変更されました。当社の現在の概要は下記の通りです。

会社概要

・代表取締役　：　久保　寛一
・設立年月　：　1967年6月（昭和42年）［羽村新工場稼働：2017年］
・所在地　：　本社、羽村工場　　・電話：042-578-8220
　東京都羽村市神明台4-5-17
・資本金　：　2000万円
・売上高　：　37億円（2022年6月）　・従業員数：200名
・事業　：　電源装置、各種トランスの設計・製造・メンテナス／修理
・特記事項　：
　◆2018年　MCPCaward　218受賞
　　経済産業省の「地域未来牽引企業」に選定
　◆2019年　はばたく中小企業・小規模事業者300社に選定
　◆2020年　あさひ出版より当社社長久保寛一著「ありえない町工場」出版
　◆2022年　DX認定「三多摩中小企業では初の認定（METI／経済産業省）」



■当日、午後2時に当社を訪問すると、11名の名前が書かれた歓迎のプラカードが掲げられており、歓迎を受けました。今回、訪問した新工場は2階建てのビルに本社と工場が併設されており、手狭になったため現在3階を増築中でした。

■その後、社長、担当者による当社概要について、下記のご説明をいただきました。

① 会社概要・会社の沿革について。

② 当社製品であるトランス、電源装置について：特注品の多品種少量生産。

③ 財務内容（売上高、経常利益、従業員数、資産・負債構成）：良好に推移している。

④ 若手、女性、外国人も採用、従業員教育を重視し、多額の教育費を投入している。

⑤ 当社のIT、DXへの取り組みと生産性・業績の向上：iPadの全員配布と活用。

⑥ 経営計画書による経営と評価制度：従業員、金融機関にも開示。

⑦ 組織は縦串と横櫛：縦のライン部門と横の委員会制度の組み合わせ。

⑧ 環境整備：5Sの徹底、工具の形跡管理、社内・ご近所を毎日20分清掃。

⑨ カイゼン活動：現場・現物の前で改善発表会、全員投票による表彰制度等。

⑩ これからの経営は人、物、金、情報、時間＋デジタルリテラシー。

■工場内見学に移り、工場内に入ると従業委員一同から「いらっしゃい」と挨拶され好感度が増しました。当社は多品種少量の受注生産であるため、最適な生産工程とライン化が構築され、製品の生産が行われていました。特に各自のiPadに作業進行時間が表示されて、生産時間管理が可能になっているなどITによる生産管理が徹底している様でした。工場内は明るく清潔であり、スローガンが工場壁面に掲示され、5Sを徹底していました。

■本社管理部門も見学しましたが、壁面には経営計画と進行状況を示す表が掲示されていました。管理部門もIT化か進んでおり、経営計画書も今はWeb化しています。
その後、社長出席のもと質疑が行われ、5時過ぎに当社を辞去しました。

見学後の感想：

今回、再度当社を見学して、前回より一段と経営の進化が見られ、感銘を受けました。
当社の優れた点を記載しますと次の通りです。

経営 ① 社長の優れたリーダーシップ。企業の理念・経営方針が明確であり、全員が共有。
② 全員参加の経営、価値観の共有。経営計画書による運営（PDCA）が浸透。
③ ニッチ市場に特化した特殊トランス、電源装置の設計、生産、出荷の一貫体制
④ 外国人、女性を積極採用、戦力化するダイバーシティ経営。人材教育の重視

生産 前回見学時に比し、新工場稼働により生産工程の効率化が進み、ITの積極的な導入による生産性が向上。5Sの改善、環境整備の充実。

財務 業績は順調に推移しており、キャッシュフローを重視した経営

今後の方向

ここ8年後には売上高100億円、5年後に従業員300人の目指す目標が掲げられており、今後はそのための経営上の諸体制作りが課題と思います。

（TAMAマネジメント研究会 幹事 横井 三郎）

事業部・委員会活動

「リアル！クロッシング」を開催します

AMCJクロッシング

小暑の候　梅雨明けが待ち遠しく、そろそろ夏本番を迎えるこの頃、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

2年前、コロナ禍の中、AMCJクロッシングを立ち上げました。先日の6月12日にて、8回目の開催を重ねることができました。たくさんの方に支えられ、運営できましたことをあらため感謝申し上げます。

これからも全国会員の皆さまが気軽に参加でき、お互いを知っていただける「フラットな場」になるように、運営を行ってまいります。

AMCJクロッシング委員長　戸田 裕之

「リアル！クロッシング」を開催します。

8月20日（土）、13：30～16：30、東京開催、本部四ツ谷（予定）
10月15日（土）、13：30～16：30、大阪開催、場所未定

コロナ禍で今まで開催できませんでしたが、ようやく**リアル（対面）での開催**を企画しました。久しぶりでの対面ですので、みんなで集まって「ワイガヤ」をしましょう！

お気軽に参加していただきたいと思います、当日はお待ちしております。

当日のタイムテーブル（仮）

・挨拶
・自己紹介（参加者全員、1分程度／人）
・ユニークな活動の発表（8名程度、15分発表・質疑応答）

★発表者募集　発表いただける方は下記へエントリーお願いします。
パワーポイント　A4　8枚以内　（表紙・自己紹介含む）
発表原稿締切　実施日の1週間前
（発表者には賞品あり）

・終了後、懇親会を行います。

◆『第7回AMCJクロッシング』、4月10日（日）、14：00～、参加者30名
テーマ1「身近な事業承継」　西尾 英幸会員（九州支部）
テーマ2「利益獲得！大作戦」　樋口 弘之会員（千葉支部）

グループ討議（テーマ1）

「リーダーシップを発揮していくためにはどのようなやり方があるか？」

・自然体で、顧客、取引先からの信頼構築をする

・採用に関して、高望みしない、寄り添って育てる（支援する）

・コーチング、共通の目標を設定する

グループ討議（テーマ2）

「100万円の利益を達成する施策について」

・過去レビューから有益な促進策を整理し（数値化）、優先順位をつける

・現400名の既存客をRFM分析してセグメントごとに戦略を立てたらどうか

・財務の視点で考えると、経費削減か客単価UPが必要

・新たなサービスを作るなどのことが必要

・制約条件が厳しい中でもLP利用ただしオールマイティなLPでなく、ターゲットを想定しそこに刺さるものでなくてはならない

・売上が圧倒的に足りない。資料から財務的に経費節約はあてにできない。成約条件的に厳しいがインターネットをつかった営業を考える。利益を取らないところ（儲け主義でないところ）に顧客の共感があるのかな

◆今後のスケジュール

2022年 8月20日（土）、13：30～16：30、リアルクロッシング、東京

2022年10月15日（土）、13：30～16：30、リアルクロッシング、大阪

2022年12月 3日（土）、15：30～17：30、 全国論文発表、ZOOM

以下から、

AMCJクロッシングの開催日は、【偶数月 第2日曜日】を予定しております

2023年 2月12日（日）、時間未定、テーマ未定、ZOOM

2023年 4月 9日（日）、時間未定、テーマ未定、ZOOM

お申し込み先：keieishikai.crossing@gmail.com

メール件名：AMCJクロッシング　申し込み

メール宛先：AMCJクロッシング　戸田宛て

メール本文：①お名前、②会員番号、③支部名、④電話番号

第56期経営士養成講座の募集について

第56期経営士養成講座の募集について、以下の通りご案内いたします。

1. 経営士養成講座の日程について

■第56期経営士養成講座カリキュラム（概要）

開講形式	日　程	時間帯	科目・講座内容
【対面】	9/10（土）	09:00～18:00	◇開講式、オリエンテーション、第4次産業革命に向かう日本と世界経済動向、コンサルタントとしての基本スキル、MPP、ほか
対面 or Zoom	9/17（土）	09:00～18:00	マーケティング、商品開発&販売戦略、ほか
対面 or Zoom	9/24（土）	09:00～18:00	実務研修事前、中小企業支援諸施策、ほか
【対面】	10/1（土）	09:00～18:00	実務研修①＜企業訪問＞ 実務研修②＜企業の実態把握＞
対面 or Zoom	10/8（土）	09:00～18:00	実務研修③＜課題抽出＞、持続可能な企業経営（CSR/CSV/ 環境経営・ESG 投資とその事例）、ほか
対面 or Zoom	10/22（土）	09:00～18:00	生産管理の基礎と経営士としてのスタンス生産管理の潮流、ほか
対面 or Zoom	10/29（土）	09:00～18:00	実務研修④、中小企業におけるIT導入と情報セキュリティ、ほか
対面 or Zoom	11/5（土）	09:00～18:00	実務研修⑤、リスク管理とBCP、組織の活性化と人事制度、ほか
対面 or Zoom	11/19（土）	09:00～18:00	ビジネス倫理、企業経営者講話
【対面】	11/26（土）	09:00～18:00	実務研修⑦＜企業への報告＞、経営士会の人材育成、ほか ◇閉講式

※詳細内容につきましては、日本経営士会HP　https://nihonkeieishikai.com/　でご案内しております。ご確認下さい。
なお、都合により、カリキュラムおよび講師の変更をすることがあります。

2. 研修場所

■会　　場：　一般社団法人日本経営士会・本部会議室および実務研修先（東京都）
■住　　所：　〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12　B.D.A.二番町ビル5F

3. 受講申込み

■申込方法：　次頁の申込書にご記入の上、メールまたはFAXにてお申込み下さい。
なお、受講料の納入をもって受付完了とさせていただきます。
■募集人員：　10名（定員になり次第締め切らせていただきます）
■申込締切：　2022年8月31日（水）
■受 講 料：　220,000円（消費税含む）　※受講開始後の返金は致しません。
■振 込 先：　みずほ銀行　麹町支店　　普通　1614618　　一般社団法人　日本経営士会

4. お問合わせ

■申込み先：　一般社団法人日本経営士会　本部事務局　窓口：田中洋子 宛
■連 絡 先：　〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12　B.D.A.二番町ビル5F
■電　　話：　03-3239-0691／FAX：03-3239-1831
■E-mail：　office@nihonkeieishikai.com

5. その他

■新型コロナウイルス感染対策を徹底し、十分な予防対策を取っていただきますようお願いいします。
■今後のコロナ感染状況により、行政・自治体などの要請に基づき、対面形式を一部変更する場合もございますので、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

第56期経営士養成講座申込書

申込日　2022 **年**　　**月**　　**日**

申込者	**氏　名**	(ふりがな)	生年月日（　　歳）	
			年　月　日	
	会員番号＊1		所属支部＊1	
	現住所	〒		
	電話番号:		FAX 番号:	
	Email アドレス:			
勤務先	**勤務先名**		役 職	
	勤務先所在地	〒		
	電話番号:		FAX 番号:	
	Email アドレス:			
最終学歴＊2				
社会での学習実績＊3				
業歴と役職＊4				
紹介者	**紹介者**＊5			
	紹介者支部＊5			

＊1　経営士会会員の場合、ご記入下さい。
＊2　大学卒業程度の学識と実務経験 5年以上
＊3　ご心配な方は、保有資格や社会に出てからの学習の経験を細かく書いてください。
＊4　ご心配な方は、経営管理の経験実績、管理職やリーダー経験を細かく書いてください。
＊5　紹介者がいる場合、ご記入下さい。

※ご提供頂きました個人情報は、本部および中日本ブロックからの研修会などの情報提供のみに使用させていただきます。

支部活動報告

北海道支部方針

北海道支部

北海道支部は、過去6年間支部長として労して下さった溝渕新蔵支部長が健康等の理由から退任し、私、須川清一が後任の支部長を引き継ぐこととなりました。溝渕氏は、会社経営者としての実践と経営学について学び博士号を取得するなど、私にとっても模範となる経営士の存在であります。今後も支部の相談役としてアドバイスを頂けることとなっています。

北海道支部は、コロナ禍で十分な活動が出来ない中で、2か年が経過しました。幹事長として役割を果たせていないことに責任を感じています。2022年度は、まず支部活動を継続的に行うことを第一の目標とし、経営士会員各位が入会時に期待したそれぞれの事業に役立つ経営士支部を目指して協力して活動を進めたいと考えています。北海道支部の会員は、広い地域で活動しており、日帰りでの活動参加が厳しい状況にありますので対面とズームを併用したハイブリット方式で行う予定です。

4〜5月は、どのように役職の責任分担を行うか、さらに支部役員とともに2022年度の具体的な活動をどのように進めるかについて検討を行い、2022年度の支部事業計画を具体化する打合せを行い、事業計画をとりまとめました。支部総会は、6月18日(土)に対面とズームを併用したハイブリット方式で行う予定(会報発行時には支部総会は終了)です。

支部の今年度の事業は、毎月第3土曜日14時から支部幹事会と月例会を開催する計画です。支部幹事会では、取り組みの進め方等を協議・決定します。また、月例会では、MPPによる経営士力の向上とともに、それぞれの事業紹介、課題の報告、興味のある事項の報告を可能な会員が順に行う予定です。また、外部機関の方に支部顧問を依頼し、意見交換、研修、交流等を進める予定です。

北海道は第一次産業が基幹的な産業であり、これまで国の補助金や交付金等で事業が営まれ、経営的な感覚が十分に発揮されない環境にありましたが、コロナ禍等も含めて国債の借入額の増加等から国の財政状況の厳しさが増しており、さらにウクライナの影響から食料等の原料生産の確保の厳しさも増しています。そのため、北海道においては、経営管理に関する取り組みの重要性がますます増すものと予想されます。経営に総合的にかかわる経営士の役割が一層高まることとなります。このような地域の期待に応えることができるように支部活動を通して、各会員のスキルアップを図ることを目指したいと考えています。経営士会は、本部で進める多様な取り組みがあり、必要な分野な情報や知見をズームなどいろいろな方向で入手することが可能です。

(北海道支部 支部長　須川 清一)

東北支部活動報告

東北支部

1. コロナ禍に負けず、新入会員初顔合わせ勉強会を開催！！（伊藤 仁会員　報告）

コロナ禍の中、東北支部の事業活動も中止が続いておりました。過般一年ぶりに開催した役員会において山下支部長からの強い申し入れで、感染予防対策を講じ今回久々の事業を開催することになりました。コロナ禍で新たに入会された会員の方々には、現状のままでは数年間、支部として何の事業も提供出来なくなってしまうので、是非実施しようという役員会の熱い意志の表れであり、今回の事業は、この方達に的を絞ったものとし、現在活躍されている経営士の方々によるパネル討論会を行うこととなりました。当日は、三部構成で勉強会を開催し内容は以下の通りです。

開催日時　令和4年1月29日　午前10時～ 12時
開催場所　深田会計マネジメンツ研修室（仙台市青葉区一番町）
参加人数　会場参加者15名　リモート参加者5名　計20名

1. 支部長挨拶　山下健二　東北支部長
2. 支部の組織及び活動内容について
   今回の研修会は、入会して3年以内の会員が多いため、山下健二東北支部長より、経営士会設立70周年の記念誌が配布され、それに基づいて設立の経緯、理念、現在行っている各種事業についての説明が行われました。
3. パネル討論会　　テーマ：「経営士として如何に企業貢献すべきか」
   パネラー　　経営士　渡辺　晋也　　経営士　伊藤
   コーディネーター　経営士　小又　勝山
   討論会に出席の3名全員経営士養成講座の修了生で、現在、経営士として独立開業並びに企業内経営士として指導活動を行っており、「経営士としての自分自身の方針」「自身の企業支援の仕方」「経営士として目指すべきもの」「これからの経営士会に求める事並びに事業の提案」について討論会形式で発表して頂きました。新入会員からは、パネラーの熱意が伝わって参考になりましたとの意見があり主催者として一安心しました。
4. 新入会参加者の自己紹介及びPRコーナー
   今回参加した会員の内、加入3年以内の方々に自己紹介並びに加入の動機、自社のPRを行って頂きました。

勉強会終了後、参加者全員で、ウェスティンホテル仙台にて、昼食会を開催し名刺交換等を行い懇親を深め盛会裏の内に終了致しました。

（パネル討論会中の、渡辺晋也会員と伊藤仁会員
コーディネーターは、小又会員）

（多くの会員に参加いただきました）

2. 東北支部　第6期経営士補養成講座を開催します。

東北支部では、以下の通り第6期経営士補養成講座を開催します。お知り合いにご案内下さい！

期　　間	令和4年9月3日（土）～ 11月5日（土）の5日間　10：00 ～ 17：00
受講時間	30時間・土曜日5回・一日6時間　　スケジュールは裏面
会　　場	深田会計マネジメンツ研修室（仙台市青葉区一番町1丁目1-31 山口ビル2階）
定　　員	10名程度（少人数授業）
受 講 料	6万円（税込）資料代を含みます。
申込締切	令和4年8月6日（土）※定員に満たない場合は中止といたしますのでご了承下さい。

（東北支部　表　伸也）

あなたが企業のチカラになる

第６期生
募集中

経営士補養成講座
受講生募集中

これから経営を学びたい方
大学で経営を学び、就職に活かしたい方
企業内で経営改善にかかわっている方
定年後に経験を活かし経営コンサルタントを目指す方

一般社団法人日本経営士会とは

本会は**「経営コンサルタントの集団」**という、**企業の経営革新や成長戦略を支援する専門家**であるという強みを持っています。すなわち、経営改善計画を策定して金融機関から融資を獲得するということにとどまらず、コンサルタントの視点から課題の抽出と解決、強み、弱みの分析、事業戦略・成長戦略の策定とアクションプランの実行支援など、ＰＤＣＡいわゆる経営のマネジメントサイクルを企業内に定着させ、**持続的な経営を支援することができます。専門分野の経営士**がそれぞれの強みを持ち寄って、**強靭な経営基盤の構築をサポート**します。あなたもその仲間に！

期　　間	令和４年９月３日（土）～１１月５日（土）の５日間　10：00～17：00
受講時間	３０時間・土曜日５回・一日６時間　　スケジュールは裏面
会　　場	深田会計マネジメンツ研修室（仙台市青葉区一番町１丁目１－３１山口ビル２階）
受講資格	①大学卒業程度以上の学識と経営管理の実務経験３年以上有する者 ②中小企業後継者・管理者・会計事務所・社労士事務所職員等 ③企業支援団体等勤務者 ④金融機関勤務者 ⑤経営コンサルタントを目指す者
定　　員	１０名程度（少人数授業）
受 講 料	６万円（税込）資料代を含みます。
申込締切	令和４年８月６日（土）※定員に満たない場合は中止といたしますのでご了承下さい。

特　典

・養成講座終了後、入会資格を満たした場合は経営士会に入会することができます。
・経営士補の資格を取得し、経営コンサルタントとして活動できます。
・「経営士補」は資格を付与した日からの実績により(所定の要件を満たした後に)、審査を経て「経営士」に格付け変更できます。

東北支部活動報告

東北支部

1. 定期報告会、ブラッシュアップ研修、昼食会を開催しました。

東北支部では、以下の通り定期報告会、ブラッシュアップ研修、昼食会を開催いたしました。

日　時　令和4年6月4日（土）

10：00 ～ 11：00　会員ブラッシュアップ研修会

講　師　経営士 佐藤 茂樹 氏

テーマ　企業を強くする私のコンサルタント術

講師プロフィール

地方銀行勤務後、民間企業にて財務・人事・営業等の役職を担当、令和3年合同会社MSKコンサルティングファームを設立、経営士として秋田を拠点に近隣県の中小企業の経営指導、各種経営革新業務に携わっている。

11：00 ～ 11：30　定時報告会

11：30 ～ 13：00　昼食会

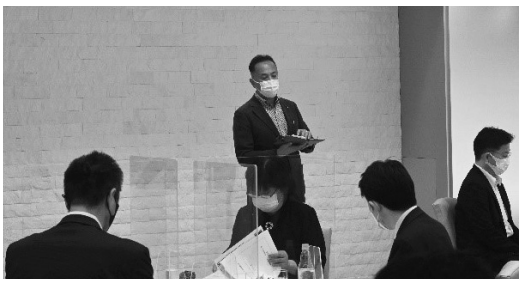
コロナ禍では書類のみでの対応となっておりましたが、3年ぶりに開催することができました。

ブラッシュアップ研修は、会員のセミナー講師スキルアップと、会員相互の業務内容の理解を深めることによる連携力向上を目的として、東北支部では2回／年の実施を計画しております。今回は、佐藤 茂樹 会員の日常のコンサルティングの内容の紹介等でした。受講者は皆さん大変参考になったと思います。

定時報告会では、昨年度の事業報告と今年度の事業計画の報告が行われ、コロナ禍を乗り切って東北支部の活動が再開されることが、会員全体に伝えられました。

その後昼食会を開催し、美味しい料理を囲んで、会員相互のコミュニケーション向上を図りました。

（ブラッシュアップ研修講義中の佐藤会員）



（定時報告会中の山下支部長）

（美味しい料理で昼食会を開催）

（参加者の集合写真）

2. 東北支部　第6期経営士補養成講座を開催します。

東北支部では、以下の通り第6期経営士補養成講座を開催します。お知り合いにご案内下さい！

期　　間　　令和4年9月3日（土）～ 11月5日（土）の5日間　10：00 ～ 17：00

受講時間　　30時間・土曜日5回・一日6時間　　スケジュールは裏面

会　　場　　深田会計マネジメンツ研修室（仙台市青葉区一番町1丁目1-31 山口ビル2階）

定　　員　　10名程度（少人数授業）

受 講 料　　6万円（税込）資料代を含みます。

申込締切　　令和4年8月6日（土）※定員に満たない場合は中止といたしますのでご了承下さい。

（東北支部　表　伸也）

支部活動報告

鮭文化と町屋見学のご案内

北関東支部　新潟県会

北関東支部新潟県会では、外部研修として地元の企業見学等を実施しています。

今回は、昨年の全国研のエキスカーションで実施できなかった鮭文化と町屋見学コースを日帰りで実施する事になりました。新潟県村上市のイヨボヤ(鮭)会館の見学、100種類ともいわれる鮭料理のフルコースを堪能し、町屋を見学します。全国研の分科会でご講演いただいた吉川様のお店も訪問します。鮭料理のフルコースは、10月～12月の鮭の遡上する時期だけ提供されます。会員に限りませんので、ご家族、ご友人等お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

記

日　時　2022年10月15日(土)

11 : 10	村上駅集合 (羽越線　JR新潟駅より1時間程度)
11 : 20 ～ 12 : 20	イヨボヤ会館見学
12 : 30 ～ 14 : 30	割烹善三（鮭料理フルコース）
14 : 40 ～	町屋散策
17 : 00	村上駅解散

会　場　割烹善三・旧村上市内(町屋地区)

参加費　8,000円(税・サ、施設入館料)　(飲み物代は別途)
(お料理15種類程度、すべて鮭の各部位が使われています。)
村上市までの交通費は各自でお願いします。

申込み　北関東支部新潟県会　メール：kuwayaam@keieishien.org
氏名、所属支部、交通手段、電話又は携帯番号を明記、上記メールアドレスにお申込みください。
お問合せ　090-1463-6497　(桑山まで)

以上

(鮭料理の一例)

(千年鮭　きっかわ)

(イヨボヤ会館)

新潟県会　活動予定

7月　9日(土)　第33回公開MPP　長岡まちなかキャンパス
8月27日(土)　第34回公開MPP　長岡まちなかキャンパス

埼玉支部活動報告

埼玉支部

新年度を迎えるにあたり、4月、5月はこれまでの振り返りと新年度に向けた課題について意見交換をしてきました。

埼玉支部では『埼玉の中小企業を元気にする！』を活動目標として活動を行って参ります。

今年度は、『支部の活性化』に向けて、具体的な取り組みを企画し、一歩ずつ前進していきます。

埼玉支部のHPを下記に開設しておりますのでどうぞご覧ください。

埼玉支部HP：http://www.keieishi-saitama.com/

【活動報告】

①令和4年4月29日（金）19：30 ～ 21：00　幹事会（ZOOM会議）

『議題』

1. 年度報告会について
2. 広報活動について
3. MPP活動について
4. 新年度の幹事会メンバーの再確認
5. 新年度の活動方針について
6. その他

上記議案についての打ち合わせを行い様々な意見交換を行いました。

②令和4年5月21日（土）19：30 ～ 21：00　埼玉支部報告会（ZOOM会議）

『議題』

1. 第1号報告「令和3年度支部事業報告」（柴田支部長）
2. 第2号報告「令和3年度支部決算報告」（堀脇幹事）
3. 第3号報告「令和3年年度支部監査報告」（春原監事）
4. 第4号報告「役員改選報告」（柴田支部長、鈴木新支部長）
5. 第5号報告「令和4年度事業計画」（鈴木新支部長）
6. 第6号報告「令和4年度収支予算書」（鈴木新支部長）

上記議案についての打ち合わせを行い様々な意見交換を行いました。

新年度に向けて、意見交換や方針共有の良い機会となりました。

『今後の活動予定』

令和4年6月24日（金）15：30 ～ 17：00　第68回定時社員総会

以上

（広報担当幹事　江上 範博）

支部活動報告

千葉支部活動報告

千葉支部

5月22日の支部定時総会は滞りなく終了しました。新支部長には、関口恒会員が就任されました。

開催日　：　4月30日（土）
会　場　：　Zoom会議＋公民館会議室（ハイブリット方式）
議　題　第１部
　　幹事会・運営委員会
　　① 4/22理事・支部長会議報告
　　② 5/21支部報告会内容について
　　第２部
　　第55期経営士養成講座準備委員会

開催日　：　5月22日（土）
会　場　：　Zoom会議＋公民館会議室（ハイブリット方式）
議　題　第１部
　　幹事会・運営委員会
　　① 理事会報告
　　② 定時総会リハーサル
　　第２部
　　支部　定時報告会

（4/30　幹事会・運営委員会）

千葉支部 第６７回 定時報告会 次第
令和４年５月 21 日　15:00～16:30
Zoom 会議
１．開　　会　　15:00
２．支部長挨拶
３．報告事項
（１）令和３年度事業報告の件
（２）令和３年度収支報告の件
（３）令和３年度監査報告の件
（４）支部長選任と新執行体制報告の件
（５）支部規定変更の件
（６）令和４年度事業計画（案）の件
（７）令和４年度予算（案）の件
４．閉　　会　　16:30

（5/21　支部　定時報告会）

支部活動報告

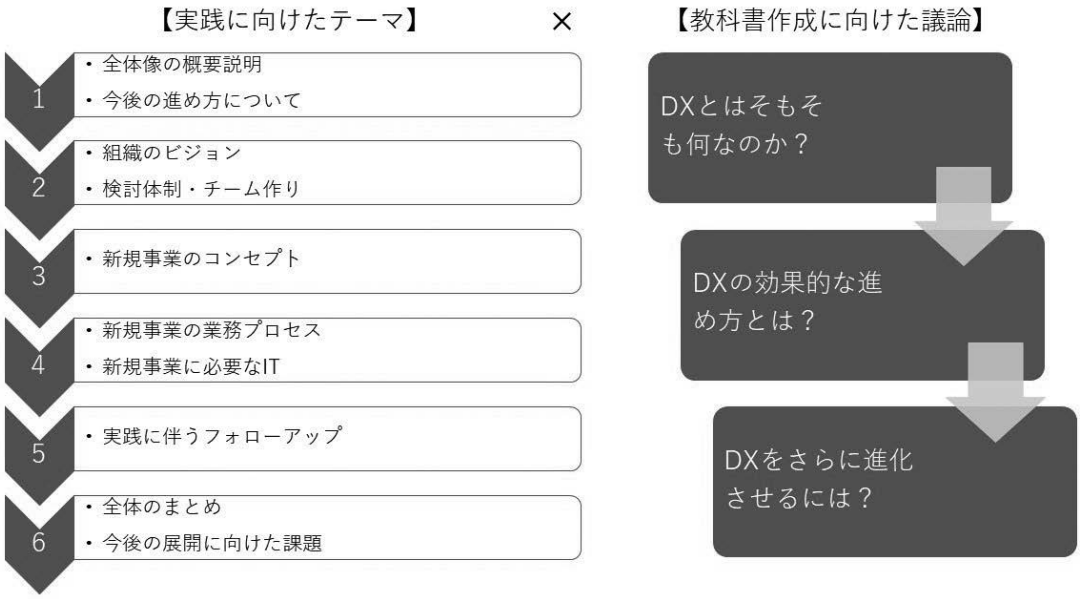
「DX研究会」報告

東京支部

東京支部の岩井徹朗です。2022年3月まで半年間にわたり、東京支部主管で「**DX研究会**」を開催しましたので、ご報告させていただきます。

DX研究会では、DXと新規事業の専門家としてご活躍中のBeth合同会社の河上泰之先生を外部講師としてお招きし、全6回にわたる勉強会とSlackを使った質疑応答で研鑽に務めました。

（ご参照）研修プログラム（全６回）



いまやSDGsとともに、DXという言葉を聞かない日はありません。しかしながら、DXという言葉に振り回されて、「何から始めたら良いのか」が分からず悩んでいる中小企業も多いのが実態です。

経営資源に限られている中小企業の場合、「経営者が会社をどうしたいのか」がまずありき。この腹落ち感がないと、せっかくDXに取り組んでも、かえって組織の混乱を招きます。

一方、会員の中には、「自分はITやシステムはそれほど詳しくない」と思っている方もおられるかもしれません。

けれども、DXを「**デジタルを活用した創業し直し**」と捉え直せば、

・経営者が本音でやりたいことは何なのか
・会社を変えなければならない明確な理由は何か

・DXを自社として定義すると、どう言えるのか(DXをやる目的は何か)
・目的に応じて、どのようなビジネスモデル(新規事業)に取り組むのか
・会社が変革する中で、その会社は何をする集まりなのか
・変革にあわせて人事制度をどのように作り直していくか

を一つひとつ決めていくことが必要です。

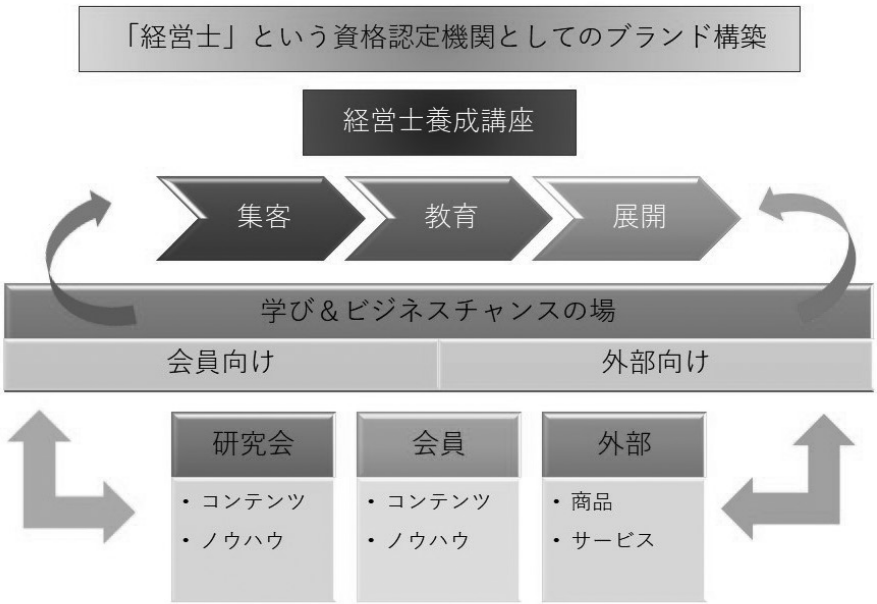
これらを経営者や会社と一緒に検討し、実践していくプロセスにおいては、仮にITやシステムの知識やノウハウをお持ちでなくても、「**経営士などコンサルのプロが活躍できる余地は非常に大きい**」と感じています。

そして、研究会の中では、先のプロセスを実践するために、ワークとして、インサイト発見に向けた質問法や、デザイン思考の進め方にも取り組みました。

私自身も研究会で学んだ手法をクライアント先で実践したところ、経営者の本音を上手く引き出すことに成功。4月に入社する新入社員向けの研修に以前からご提案していた動画マニュアルの作成がようやく実現されることになりました。

なお、DX研究会を開催した目的の一つが、DXに関して日本経営士会に改善提案を作成することです。「**日本経営士会への提案～ DX研究会での学びからの考察～**」を作成し、説明動画を保存しております。

提案の全体イメージ



お時間のある時に、ご笑覧いただき、今後の参考にしていただければ幸甚です。
→ https://youtu.be/LvNMPsgf9X8

支部活動報告

カーボンニュートラルとGX(グリーントランスフォーメーション)
― 補助金制度を利用するカーボンニュートラルの実現 ―

南関東支部

南関東支部長　戸部 廣康

本誌の前号では、バイオエタノール、バイオ燃料(BDF及びSAF)の研究開発について記述したが、今回は、バイオ界面活性剤、バイオプラスチック、及びファインバブル技術の展開について述べたいと思う。

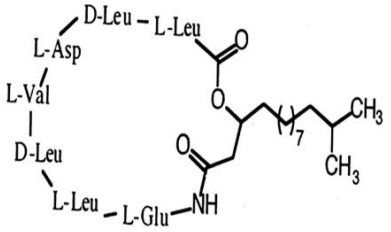
最近、カーボンニュートラルとGXを結びつける補助金制度、例えば事業再構築補助金制度に「グリーン成長枠」が付け加えられ、カーボンニュートラルの実現に向けて、企業が参画する仕組みもある。

1. バイオ界面活性剤の研究開発

A重油中から新規に分離した枯草菌*Bacillus subtilis KK*の培養液から、環状ペプチド「サーファクチン」を得た。石油を使わない、バイオ界面活性剤を生産できる。サーファクチンの構造式を以下に示す。サーファクチンは、その強い界面活性作用により、石油由来の合成界面活性化剤の働きを増強する。

即ち、微量の添加で、合成品(例えばドデシル硫酸・Na)の量を1/10 ～ 1/100以下に減少させる事が可能である(資料①)。石油由来合成界面活性剤の国内年間総生産は100万トンと言われており、1/10 ～ 1/100に減少となれば、年産1 ～ 10万トンへ大幅に減少できる。サーファクチンは既に、化粧品・シャンプー・洗剤に使用されているが、その強力な界面活性作用により、コロナウイルス等を分解し、感染を阻止するという報告も出ている。又、サーファクチンはアミノ酸が連結したペプチドなので、土壌微生物により分解され、環境中に残留しない。

［サーファクチンの構造式］



2. バイオプラスチックの研究

四国のあるお寺の裏庭の土壌からトルエン耐性微生物を新たに分離し、16SrRNA塩基配列の分析から、*Paenibacillus azotofixans* や、同 *polymyxa* に近縁の微生物と同定された。この微生物の仲間は種々の有機化合物を生産する事が知られ、この株はパルミチン酸、オレイン酸エステルやスチレン誘導体を生産する事を確認した。特にスチレン誘導体はプラスチック原料となりえる。一方、この株の近縁種では、発酵によるH_2ガス生産が確認されており、水素社会の構築にも有効との報告も有る(資料②)。

3. ファイン(マイクロ)バブル技術の展開

ファインバブル水は、空気・オゾン・二酸化炭素(CO_2)等の気体を極微小の泡にして水に含ませたものであり、既に色々な分野で応用され、市販の電気洗濯機にも用いられている。応用分野は、SDGsの目標とも密接に関係し、目標6(安全な水とトイレ)、目標9(産業と技術革新)、目標14(海の豊かさを守ろう)と直結している。小生も、空気バブル水を用いた養殖魚の酸欠防止装置の開発、生姜の洗浄装置の効率化・節水化のプロジェクトに参加した。又、CO_2水の殺菌効果について、研究を行った。更にファインバブル技術の広報活動として、2015年：第63回ウォーター研究会セミナー(北里大学)機能水研究振興財団平成26年度研修会(資料③)、及び2017年：テクニカルショウヨコハマ2017；ミニプレゼン「ウルトラファインバブル水の産業への応用」というタイトルで発表した。

又、船が船首からバブル水を放出しながら航行すると、水の抵抗が減少し、燃費向上に繋がるという研究も有る。即ち、ファインバブル水は、燃料の節約に寄与する。ファインバブル技術は、イチゴの水耕栽培等、農業分野でも用いられている。

4. まとめ

バイオテクノロジーを用いた、バイオ界面活性剤・バイオプラスチック・ファインバブル技術は、石油依存度を下げ、脱炭素・カーボンニュートラルの実現に役立つ技術である。中小企業は、政府の事業再構築補助金「グリーン成長枠」の支援を受ける事も可能である。

参考資料

① 「微生物の力で合成界面活性剤の使用量を大幅に低減」産総研(2014年7月31日)
② 「嫌気微生物による有用物質生産と環境浄化・エネルギー回収への応用」西尾尚道、生物工学会誌 第86号、第1号、2-11 (2008)
③ 「ファイン(ナノ・マイクロ)バブル水の産業への応用」戸部廣康 機能水研究 10(2) p7-13 (2015)

支部活動報告

南関東支部静岡経営支援センター活動報告 SDGs関連の講演会開催

南関東支部　静岡経営支援センター

静岡経営支援センターでは、SDGs活動の情報提供を行っています。

さて、6/3(金)PM7：00 ～ 8：00において、静岡経営支援センターの決算報告会・講演会をZoom開催し、徳浪会員による講演会を開催しました。

タイトルは 「ウォーキング・サッカー (フレイル対策版)」であり、このフレイルとは、「要介護の前段階」の意味となります。

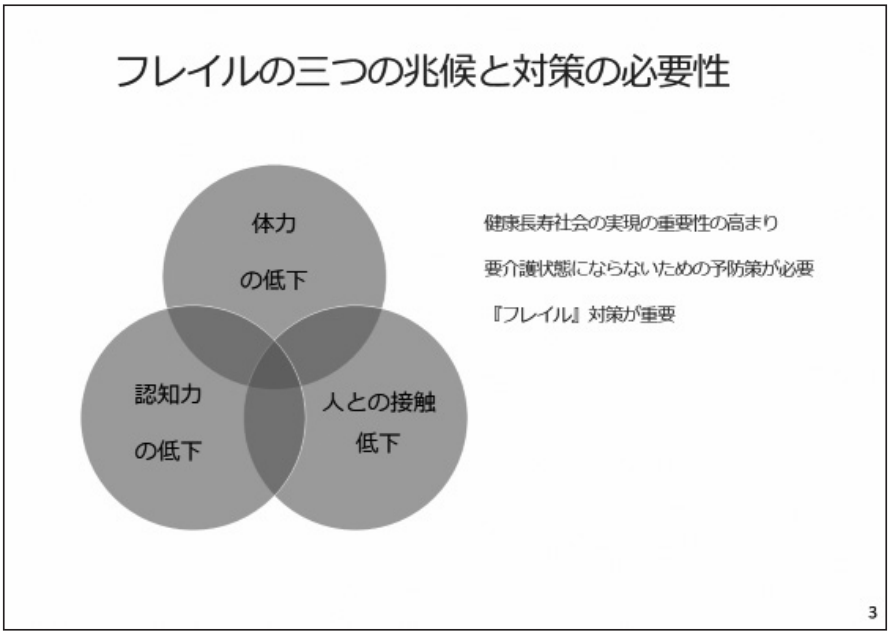
講師の徳浪会員は、一般社団法人　藤枝市サッカー協会の理事をされ、ウォーキング・サッカーの普及に活躍されています。藤枝市は静岡県では清水市と並び、サッカーが盛んな街であり、ウォーキング･サッカー普及の土壌があります。現在、全国組織として、日本ウォーキング･フットボール連盟、日本ウォーキングサッカー協会があります。

ウォーキング・サッカーの基本ルール

①プレーヤーは走れない(早歩きはセーフ)

②ボディコンタクト(チャージ)等は禁止

③1.8メートル以上の高さに蹴りあげた場合は反則　等



ウォーキング・サッカーがフレイル対策として、以下の期待される効果があります。

1. 体力の維持、向上　→体力低下の防止

ケガなどのリスクが低い中で、ウォーキングの効果がボールを追いかけることで得られます。(信州大学　能勢教授　筋力が平均10%向上)また、医療費の抑制に繋がります。

2. 有酸素運動による脳の活性化　→認知力低下防止

プレーの中で状況把握、判断、展開の繰り返しの中で脳の活性化が期待できます。

上記、1・2では、SDGs 3-d 「すべての人に健康と福祉を」が関わります。

本事業により、フレイルにつながる要因への早期対応が可能となり、継続的に運動効果を測定することで健康管理の能力強化が期待できます。今後、健康経営に取り組んでいる地元企業・大学の協力を得て、効果の測定を行っていく予定です。

3. コミュニケーション円滑化、仲間作り　→地域や人とのつながり増加

年齢や男女問わず参加でき、定期的にプレーを楽しむ中で、コミュニケーションの円滑化が図られ、仲間作りができる。また、ボールの勢いなどの工夫を考えるゲーム性は、身体運動をしながら人に対して優しい思いやりを持つことを理解するのに役立ちます。

上記では、SDGs 5-1 「ジェンダー平等を実現しよう」が関わります。

本事業は、老若男女問わず参加できるスポーツであり、全ての人が同一ルール、同一場所でプレーすることで男女共同参画が自然と行われ、差別の撤廃につながることが期待出来ます。女性、高齢者にシュートさせてあげる思いやりが出てくるようです。

上記では、SDGs 11-7 「住み続けられるまちづくりを」が期待されます。

本事業の継続により、女性や子供、高齢者の健康スポーツの活動の有効性が社会的に認知されると共に、公共スペース等の拡大が期待できます。

講演会の後半では、会員による質疑応答により、利益体制の事業化・運用方法・活用方法(高齢者施設での実施等)について、様々な意見交換を行い、有意義な時間となりました。

(静岡経営支援センター長　竹内 一登)

支部活動報告

中部支部4月～5月活動報告

中部支部

◆今期の体制（事業計画について）

開催日時：2022年4月10日（日）13：30～15：00

ZOOMオンライン　参加者：11名

この4月1日より新支部長三品富義と支部会員にて今期の体制について検討した。

その詳細については、5月22日（日）中部支部総会にて承認予定となりました。

◆メッセナゴヤ委員会

開催日時：2022年4月10日（日）15：00～16：30

ZOOMオンライン　参加者：6名

メッセナゴヤ2022の概要を説明

・開催日程　リアル開催：2022年11月16日（水）～18日（金）

オンライン開催：2022年11月1日（火）～30日（水）

・中部支部として4月20日（水）出展（1小間）申込済

・予算は30万円（本部事業として兼ねるため、本部より一部援助あり）

・今後プロジェクトを組み検討していく。

◆コンサルティング　研究会

テーマ：コンサルタントの付加価値を上げる2要素「デザイン」と「補助金」の超基本

講　師：新開潤子

開催日時：2022年4月24日（日）

13：30～15：00

ZOOMオンライン　参加者：10名

ものづくりライター
新開潤子 Junko Shinkai
オフィス・キートス 代表
（一社）日本経営士会 準会員, 経営士補, 環境経営士
安城ビジネスコンシェルジュ スペシャルアドバイザー
幸田ものづくり改善インストラクター, 中部部品加工協会会員

今回の研究会は「第一部：デザインの超基本」「第二部：補助金の超基本」の2部構成で開催しました。

第一部では、レイアウトデザインの構成要素の紹介、やってはいけないNGデザイン事例の紹介と、デザイナーへの発注の仕方とそのポイントを紹介しました。デザインの素人が資料を作るときは、「縦横を揃える」「色は3色まで」「いらないものはいらない」という基本を意識すると見やすくなります。複雑な内容を伝えるチラシやパンフレット等のデザインについては、印刷会社、製作会社、デザイナー等のプロを積極的に頼るといいでしょう。

第二部では、今年公募されている補助金制度の概要を紹介した後、補助金未経験のコンサルでも取り組みやすい「小規模事業者持続化補助金」にフォーカスして補助金概要、事業計画書の構成、着眼点などをお話ししました。短期的な補助金獲得を目的とするのではなくビジネスの成長を目標とすることが、クライアントからの信頼獲得、長い付き合いに繋がるポイントだと思います。

◆経営研究会

テーマ：事業再構築補助金申請・採択のツボ

講　師：宮本享宙（四国支部）

開催期間：2022年5月8日（日）13：30～15：30　ZOOMオンライン　参加者：6名

コロナ禍以降、事業者支援のために国は、補助金、給付金、助成金と様々な支援を行っている。その中でも経済産業省が出している補助金は、事業再構築や生産性向上による成長促進をテーマに、事業そのものに対する補助である。

補助金には設備投資、販路拡大、ITによる業務の効率化など目的別に、事業再構築補助金、ものづくり補助金、小規模事業者持続化補助金、IT導入補助金、などがあり、それぞれ内容・条件が違う。また2022年4月以降、どの補助金も補助金額をはじめ内容・条件が大きく変わっている。また、給付金、助成金は要件を満たせば予算があるかぎり受給できるが、補助金は審査があり評価の高い事業計画から採択され受給できるようになる。採択率は30%～ 70%と、条件を満たしていても必ずもらえるものではない。これらを踏まえて、当セミナーは2部構成で行われた。

・「前半」各補助金について解説･･･補助金のラインナップになっていて、どう事業に活かせるのかを解説。

・「後半」補助金採択獲得のためのポイント･･･講師の豊富な補助金支援の経験、情報をもとに、どうすれば補助金を採択することが出来るのかをレクチャー。

◆令和4年度中部支部総会

開催期間：2022年5月22日（日）14：00～19：30

開催場所：中日メディアブレーン5階及び
ZOOMオンライン

（中部支部総会模様）

【第1部】

議決権総数48名　出席議決権数　31名

（内、会場7名、ZOOM　6名、委任状18名）

上記により、本総会は支部に関する規定第12条により成立し、議長（三品富義）は議長席につき、開会を宣し、議事に入った。

・第1号議案　令和3年度　中部支部事業及び会計報告に関する件

議長は、別紙にて説明し、本議案につき満場一致をもって原案は承認可決した。

・第2号議案　令和4年度中部支部事業計画及び予算（案）に関する件

議長は、別紙にて説明し、本議案につき満場一致をもって原案は承認可決した。

・第3号議案　令和4年度～5年度中部支部幹事・監事（案）に関する件

議長は、別紙にて説明し、本議案につき満場一致をもって原案は承認可決した。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、15時20分閉会を宣言した。

【第2部】

●特別講演　15：30～17：00　テーマ「時流を知る」　講師：加藤健二　参加者：18名

KEY・WORD・2022-02今回の時流は、メタバース・スターリンク・民族滅亡の三原則・小売店のDX化ゑびや大食堂・映えるきしめん専門店・究極の小売店：ポツンと一軒家の大繁盛店・青汁サービススタンドで60年の老舗・30年間英国風の＠1500円激辛カレー専門店・映える大福餅専門店・老舗の赤福・吉田松陰の“夢なき者に成功なし”・伊勢神宮の遷宮と運気と日本・世界の歴史、赤福とお福餅、おかげ犬など、大変ユニークで興味深いお話をしていただきました。

【第3部】

●懇親会　17：30～19：30　場所：PIZZA SALVATORE CUOMO 伏見店　参加者：9名

総会後、久々の支部会員の懇親会にて交流を図ることができました。

支部活動報告

今後の支部活動について

近畿支部

近畿支部長　國廣 好行

会員の皆様、コロナに負けずご活躍のことお喜び申し上げます。

本年度は、会員の研修を集合とZoomによる研修を考えております。特に、新入会者に方には経営士会に入会して良かったなと思える研修会を心がけてゆきます。

1. 当会には、経営士以外にも税理士・社会保険労務士・行政書士・宅建士等の方々が多数在籍しております。また、大学で教鞭を取られている先生もおられ近畿支部の強味でもあります。是非、ご活用下さい。

2. 本年度は、3名の環境経営士を迎えました。それぞれ環境等にすぐれた実績をお持ちの先生方です。支部としまして嬉しく思います。

3. 会員の募集等についても、近畿支部一丸となり推進してまいります。まずは、「経営士会に入会してよかった。」と思う会員が増えれば、おのずと経営士会てどんな会となります。
   そこで、経営士会の活動普及を積極的に行ってまいります。

4. 本年度中に近畿支部のホームページの立ち上げを、検討しております。特に、会員連絡や研修会の案内等です。また、会員の論文の発表及び会員の紹介の場を提供いたしたいと思います。

全国の会員の皆様、今後とも近畿支部をよろしくお願いします。

支部活動報告

支部会員相互連携　事業開発研修会

中国支部

中国支部　人財育成・連携担当　角田 崇文

新年度より小原啓子支部長が就任し、活発な支部活動が始まりました。

新体制は、支部長を中心に岡山・広島・山口の各県の経営支援センター長と副経営支援センター長6名に支部長直轄の女性活躍推進担当を加え、8名の幹事体制での出発です。

中国支部事業活動の目標は、「それぞれの個性を尊重し、柔軟に連携することで新たな可能性にチャレンジする」であり、その考え方を基に、各幹事をリーダーとした「事務局・組織体制強化」「認定支援活動」「地域活性化」「行政団体連携」「女性活動推進」「人財育成・連携」の6事業が展開される予定です。

そのなかのひとつである「人材育成・連携」の2022年度活動計画を報告します。

「人財育成・連携」事業活動においては、毎月1回定期的に支部会員による事業開発研修会を開催しています。

過去においては、それぞれの会員の仕事については互いをよく知らない状況で付き合ってきましたが、深く知ると仕事においてもwin-winの関係となる可能性が見えてきました。

報告会だけでなく、その前後においても柔軟な連携が始まってきており、新たな経営士会の価値が創造されていると感じています。

【2022年度上半期活動計画】（順次下半期も計画中）

○5月16日（月）　DX　ビジネスモデル構築の連携と新たな可能性
19：00～21：00　「M＆Cビジネスサポートサービス事業展開」
講師　神徳 和幸 会員　中国支部 岡山経営支援センター長

○6月11日（土）　SX　サステナビリティ経営の連携と新たな可能性Ⅰ
13：00～15：00　「サプライチェーン温室効果ガス排出量算定方法」
外部講師　仲井 俊文 氏

○7月30日（土）　SX　サステナビリティ経営の連携と新たな可能性Ⅱ
15：00～17：00　「中小企業のSDGs ESG投資 CSVの取り組み」
講師　松田 敏弘 会員　中国支部 環境経営士

○8月27日（土）　日本経営士会を活用した連携と新たな可能性
10：00～12：00　「認定支援機関・支援アドバイザーの取得と活用」
講師　板平 憲洋 会員　中国支部 山口経営支援センター長

○9月12日（月）　中国支部開発教育プログラムの連携と新たな可能性
19：00～21：00　「経営課題解決PSシート入門と活動事例報告会」
講師　神徳 和幸 会員　中国支部 岡山経営支援センター長

インフォメーション

2022年度今後の行事・講座・セミナーのご案内

行事･研修･セミナー	日　時	開催場所	詳　細	申込方法等
群馬県会 定例会	7月20日(水) 8月22日(月)	ZOOM 配信	——	——
栃木県会 定例会・MPP	7月9日(土)	ぽ・ぽ・ら	——	——
茨城県会 2022年度 第1回公開MPP	7月23日(土)	ひたちなか 商工会議所	——	——
環境交流会	8月6日(土) 10:00～12:00	ZOOM 配信	受 講 料:2,000円	本誌参照
産業能率大学 寄付講座	8月13日(土)・14日(日)	産能大 自由が丘キャンパス	——	——
AMCJクロッシング (リアル開催)	8月20日(土) 13:30～16:30	本部会議室	——	——
NJK女性経営士の会 MPP (リアル開催)	8月27日(土) 13:00～16:00	本部会議室	会　　費:2,000円	——
第56期 経営士養成講座	9月10日(土)～ 合計10回	本部会議室 ZOOM	受 講 料:220,000円	お知り合いに お勧め下さい
第72回環境経営士 環境経営士養成講座 ベーシックコース	9月17日(土) 10:00～17:30	ZOOM 配信	受 講 料:13,000円	——
第72回環境経営士 環境経営士養成講座 アドバンストコース	9月23日(祝金)・ 24日(土) 10:00～17:30	ZOOM 配信	受 講 料:25,000円	ベーシックコース 受講者22,500円
AMCJクロッシング (リアル開催)	10月15日(土) 13:30～16:30	大　阪 会場未定	——	——
経営支援アドバイザー 養成講座	10月中旬 3日間	ZOOM 配信	受 講 料: 新規 30,000円 リカレント 3,000円	——
MPPリーダー 養成研修	11月19日(土) 10:00～17:00 (懇親会あり)	新　潟 東映ホテル ユニゾンプラザ	受 講 料:34,000円	宿泊あり
MPPリーダー 養成・更新研修	11月20日(日) 9:00～16:30	新　潟 東映ホテル ユニゾンプラザ	——	宿泊あり
2022年度 経営士論文発表会	12月3日(土) 10:00～12:00	ZOOM 配信	——	——

新　刊　紹　介

スポーツショップ経営者必携！　ウィズコロナ時代の繁盛の秘訣

少子高齢化の波が多くの業界に襲いかかっています。しかも、成熟をした業界は、企業が同質化していってしまうのが常です。そのため、同じような小売店が増えてしまい、明確な差別化が図れません。

スポーツショップも同じです。

そんなスポーツショップの経営を良くしようと長年コンサルタントを続けてきたのが、著者の梅本泰則氏（経営士）です。本書では、スポーツショップ経営者のための今後の方向性や行うべきことが著わされています。

その内容は、スポーツショップだけでなく、他業界の小売店にも活用できるものです。梅本氏の経験や実績に基づく事例やノウハウがぎっしりと詰まっていますので、お読みください。

目　　次

第1章　ウィズコロナ時代にスポーツショップが進むべき方向
第2章　顧客が絶えない店舗になる秘訣
第3章　品揃えと商品管理のポイントと成功する秘訣
第4章　売上アップに結びつく販売促進活は
第5章　ネット営業の始め方と成功の秘訣

著者略歴　　梅本 泰則（うめもと　やすのり）

愛知県出身。甲南大法卒。スポーツ用品の卸売業、メーカー、商社で、営業、経営企画、海外事業などを歴任。米国の有名ランニングシューズブランドを日本市場に定着させ、拡大した実績を持つ。

2008年、経営コンサルタントとして独立開業。33年間スポーツ用品業界で働いた経験を生かし、150を超えるコンサルティングを続けている。2000万円の赤字に陥った老舗の経営を、たった1年で1000万円の黒字に転換したり、スポーツ用品業界未経験経営者のショップを3年で1億円の規模に成長させたり、経営に行き詰まった店舗をインターネットの活用で復活させたり、「シルシラシンの法則」「SCOP理論」など、独自の手法を駆使し、課題解決に努めている。

また、スポーツショップや経営者向けのセミナー・研修の開催はもとより、公的機関、業界団体からの講演・研修を多数行っている。経済紙や業界紙への執筆も多数。

ワン・トゥー・ワンコンサルティング代表。日本スポーツ用品協同組合連合会（JSERA）前役員。

一般社団法人日本経営士会　経営士。

訃　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
会務に多大のご尽力をされました。
＊荒井 久彰（NO.1660　東北支部）

Management Consultant

経営に知恵と革新 Intelligence and Innovation in Management